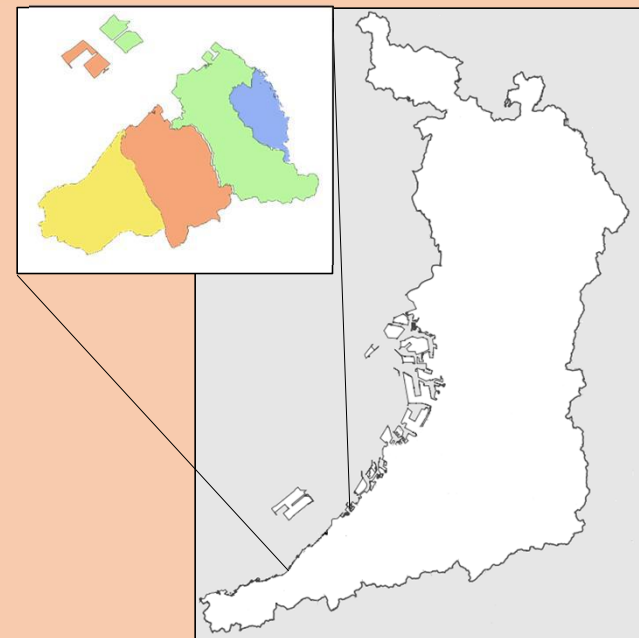




泉南地域3市1町 (泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町) 「地域の未来予測」

令和7年6月12日現在



地域の未来予測とは

○ 「目指す未来像」の議論の材料となる重要な将来推計のデータを、客観的かつ長期的な視点で整理したもので、以下の要件を満たしたもの

- ① それぞれの地域における行政需要や経営資源に関する長期的な(概ね15年から30年先までの)変化・課題の見通しを、客観的なデータを基にして整理したものであること。
- ② 分野横断的な指標として、各分野の推計の前提となる人口や人口構造の変化及び施設・インフラの老朽化等に関して長期的な将来推計を行ったものであること。
- ③ ②を踏まえて複数の分野についての長期的な変化・課題の見通しを整理したものであること。

【分野】

- ◎ 人口や人口構造の変化及び施設・インフラの老朽化等の影響を大きく受ける分野のうち、人口等を基礎として長期見通しの推計が可能な分野であって、施設・インフラをはじめとしたサービス提供体制の見通しに長期的な視点での検討が必要な分野(医療・福祉、防災・消防、衛生など)

推計した分野

推計のベースとなる人口については、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」の推計値を用いています。

分野	No.	指標	分野	No.	指標
人口	1-1	将来推計人口	行政	3-1	行政職員数比較
	1-2	人口ピラミッド変化		3-2	職員の年齢構成割合
	1-3	高齢化率・後期高齢化率	医療・福祉	4-1	医療・介護需要
	1-4	地域別人口密度		4-2	認知症有病者数
	1-5	未就学児・小中学校児童生徒数	防災・消防	5-1	避難行動要支援者数
施設・インフラ	2-1	公共施設の基本情報(保育所、幼稚園、認定こども園)		5-2	救急搬送人員数
	2-2	公共施設の基本情報(小・中学校)	衛生	6-1	ごみ発生量
	2-3	公共施設の基本情報(小・中学校プール)		6-2	有収水量
	2-4	公共施設の基本情報(体育館、公営プール)	公共交通	7-1	路線バス周辺の人口密度
	2-5	公共施設の基本情報(文化ホール)	転出入	8-1	自治体間の人口移動(2023年)
	2-6	公共施設の基本情報(図書施設)		8-2	過去5年間の転出入者数
	2-7	公共施設の基本情報(子育て支援施設)		8-3	年齢別転出入者数(2023年)
	2-8	公共施設の基本情報(庁舎)	滞在人口	9-1	月別滞在人口(2019年)
	2-9	公共施設の基本情報(雨水ポンプ施設)	産業	10-1	事業所数、企業数、農漁業者数、飲食店数の推移
	2-10	公共施設の基本情報(下水道整備状況)			

No.1-1

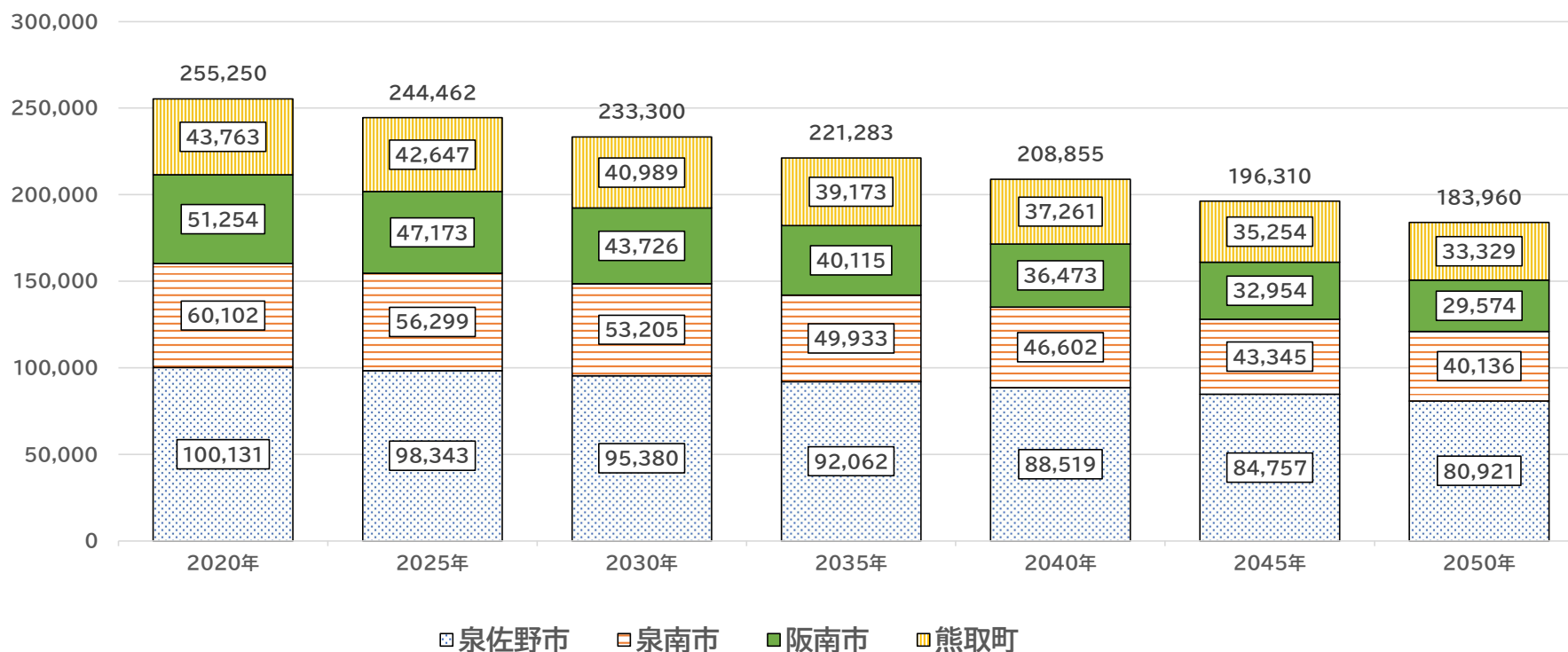
【人口】将来推計人口(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

総人口は2020年から2050年にかけて71,290人減少する(▲27.9%)見込み。

(単位:人)



No.1-2

【人口】人口ピラミッド変化(泉南地域3市1町)

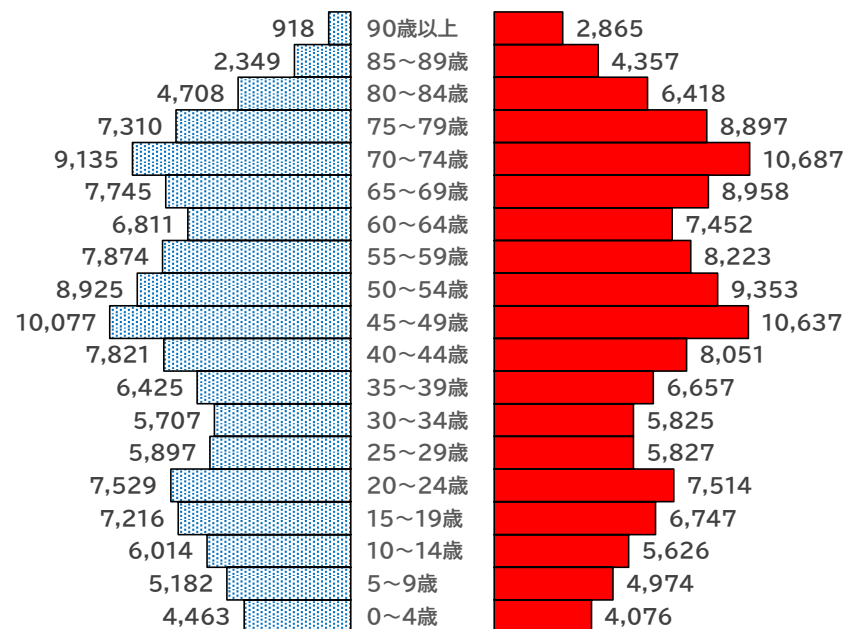
出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
※2020年については年齢不詳者を除く

推計結果の概要

年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)が減少し、団塊ジュニア世代(1971～1974年生まれ)が75歳以上となり、高齢人口が増加する。

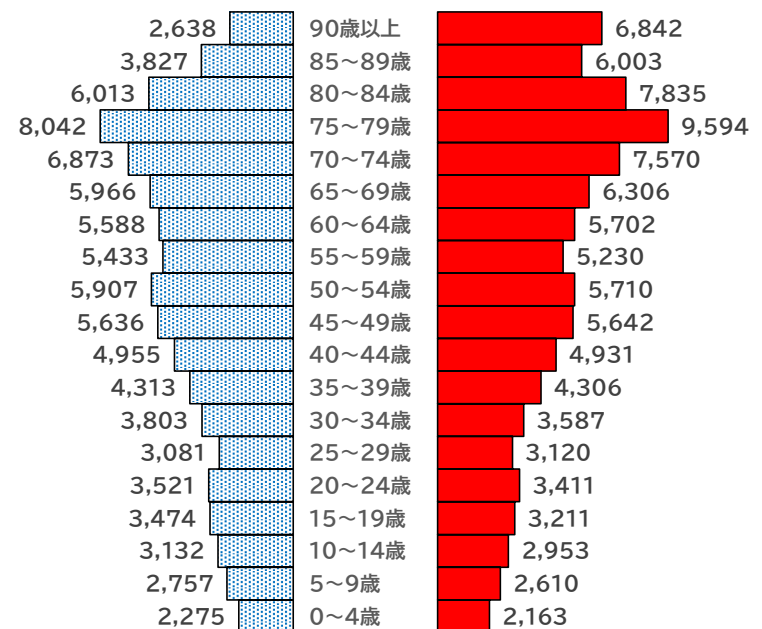
2020年

□男性 ■女性



2050年

□男性 ■女性

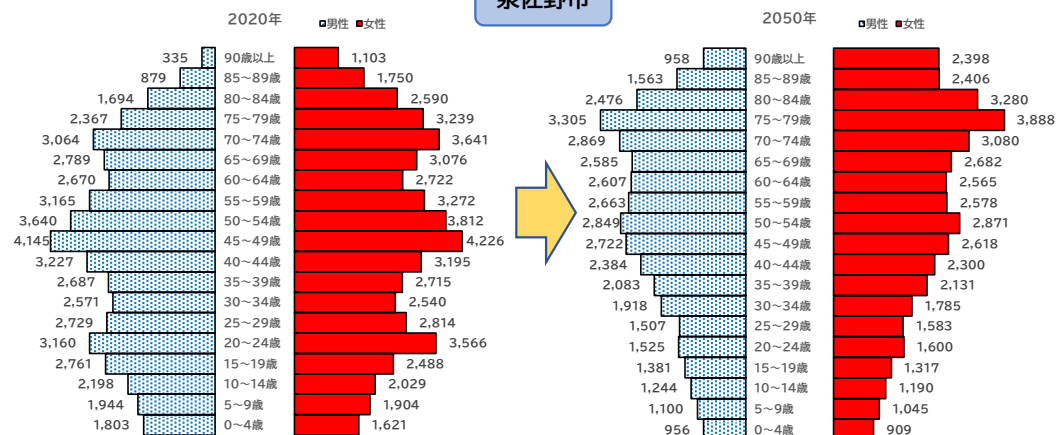


No.1-2

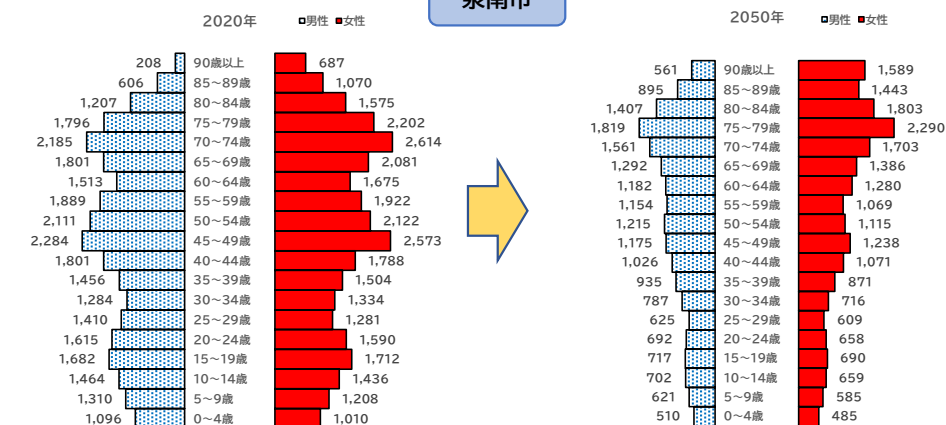
【人口】人口ピラミッド変化(各市町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成
※2020年については年齢不詳者を除く

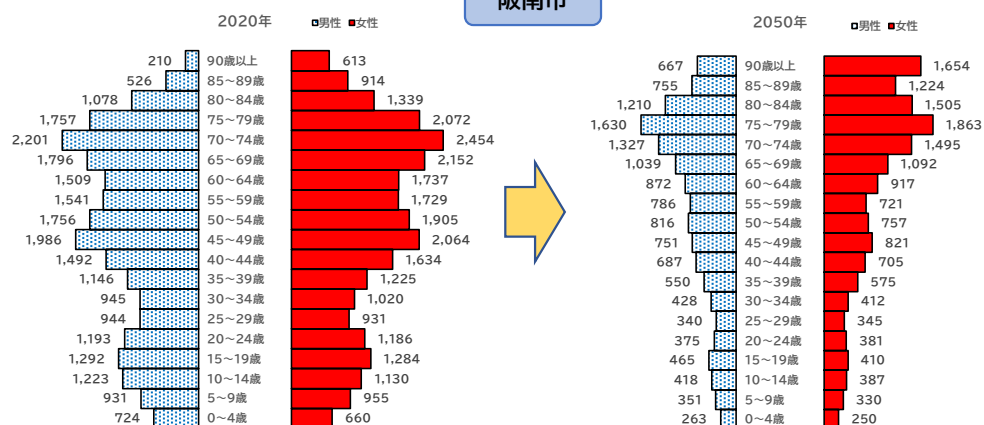
泉佐野市



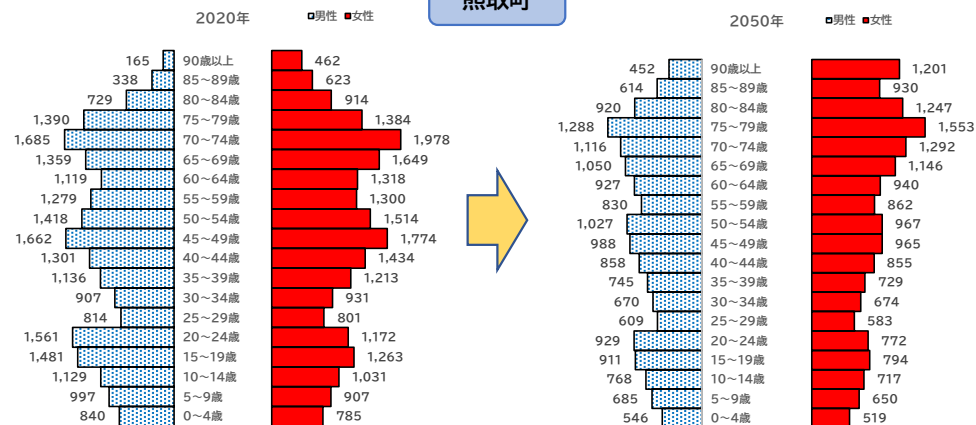
泉南市



阪南市



熊取町



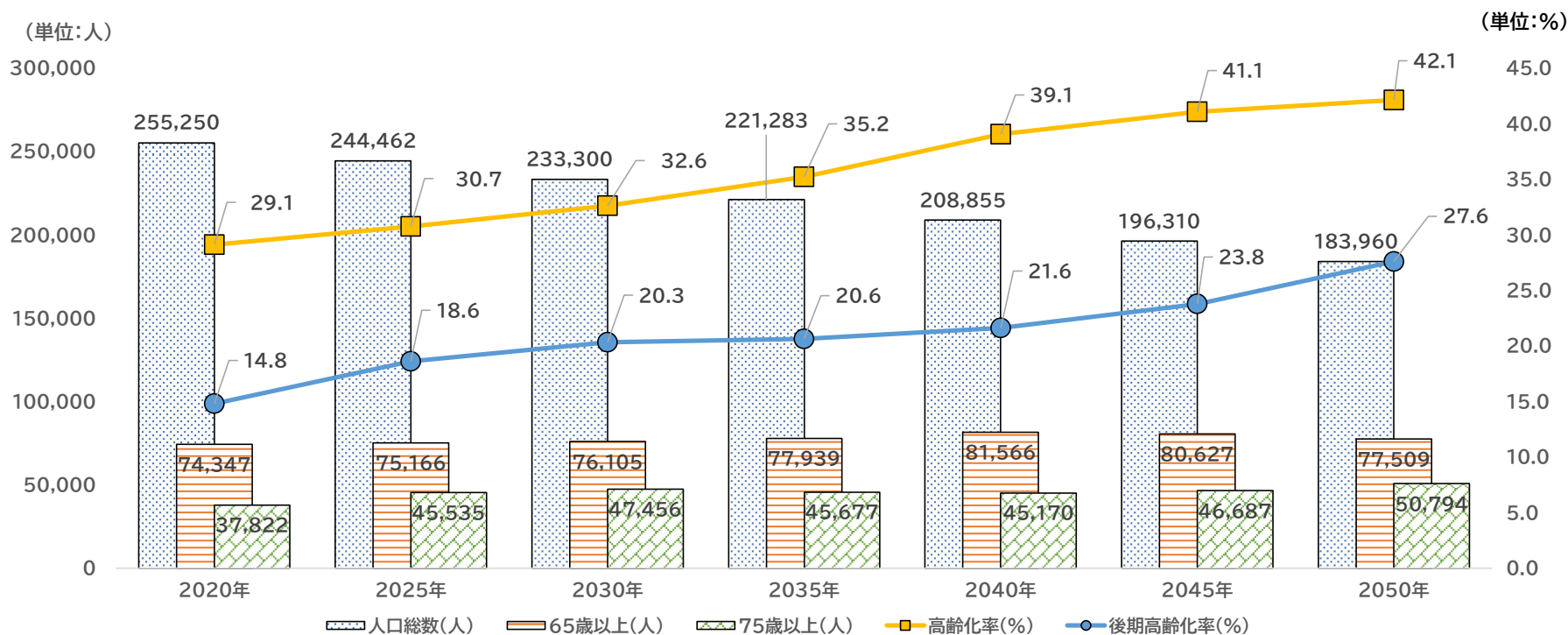
No.1-3

【人口】高齢化率・後期高齢化率(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

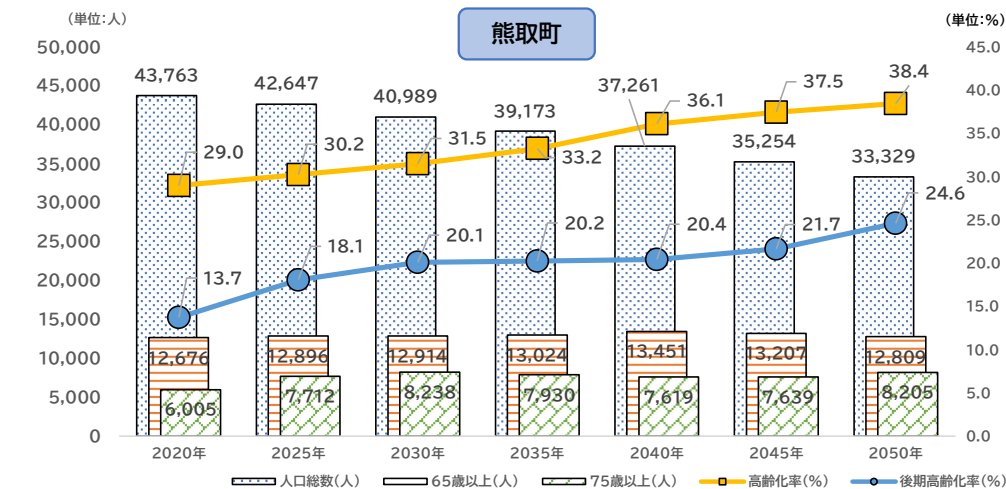
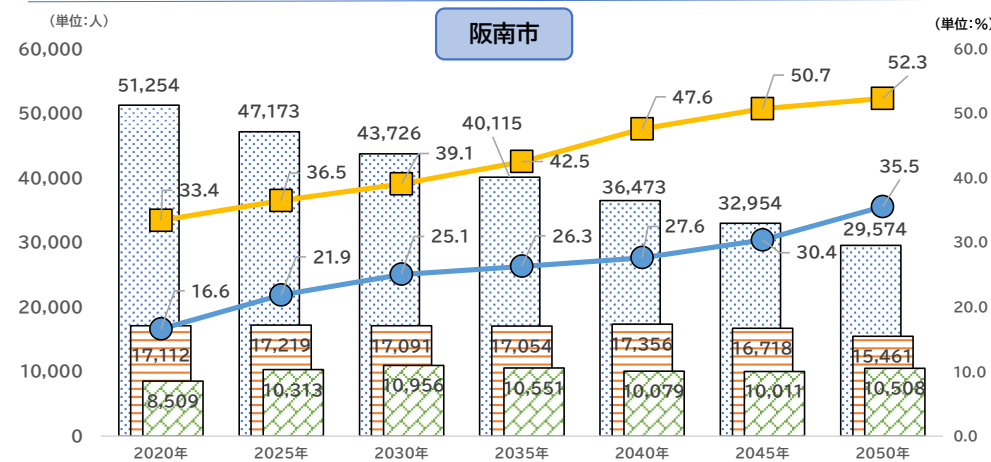
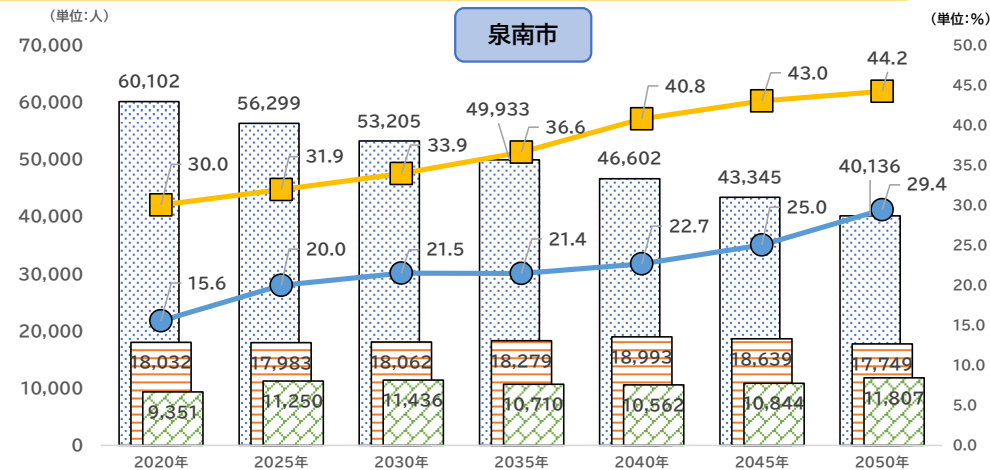
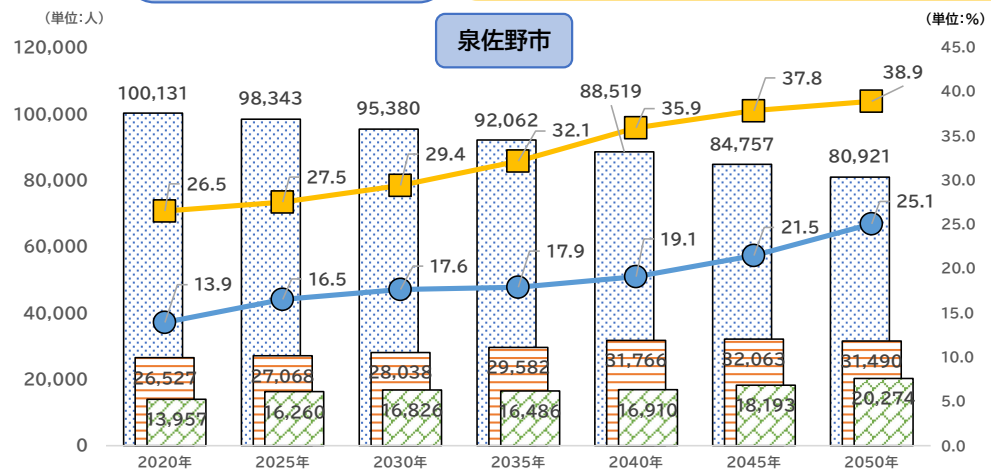
総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は13.0ポイント、後期高齢化率は12.8ポイント上昇する。



No.1-3

【人口】高齢化率・後期高齢化率(各市町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成



人口総数(人) 65歳以上(人) 75歳以上(人) 高齢化率(%) 後期高齢化率(%)

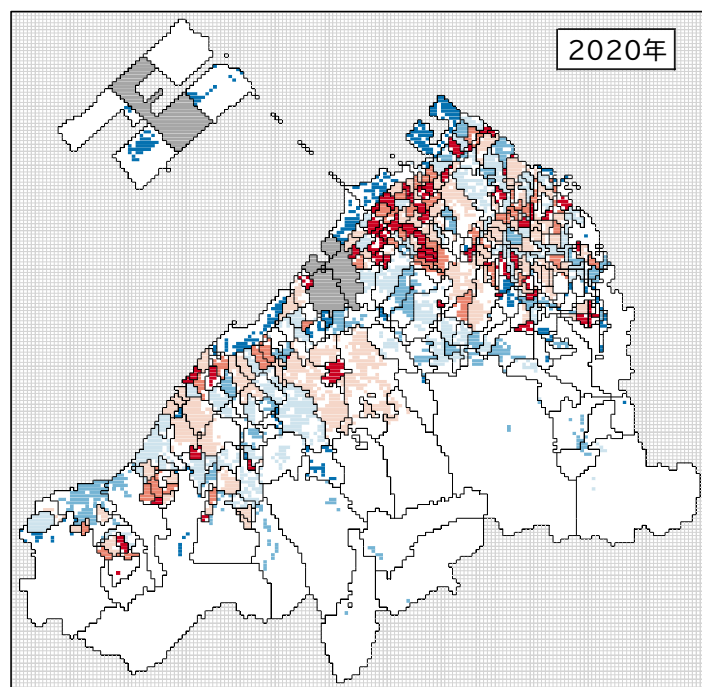
No.1－4

【人口】地域別人口密度(泉南地域3市1町)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

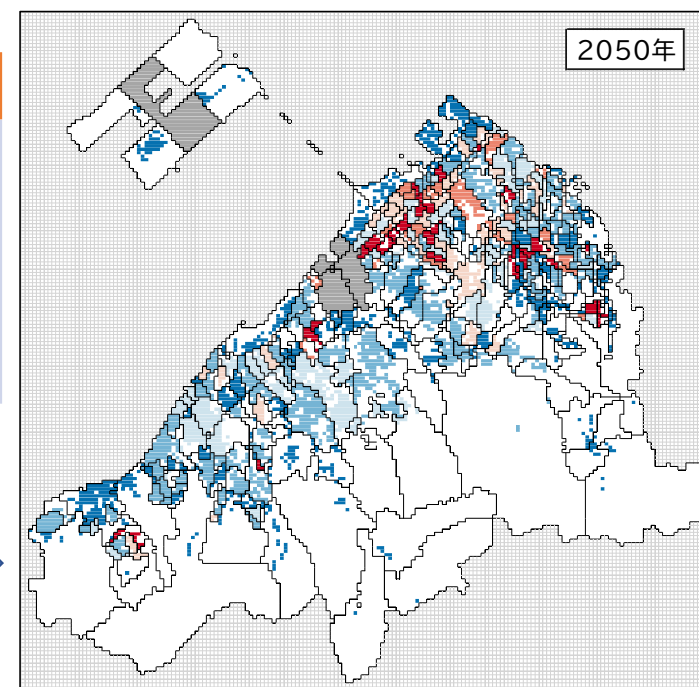
2020年から2050年にかけて、泉南地域3市1町の広範囲において人口密度が低下する。



地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを100m×100mの正方形のメッシュに見立て、メッシュ毎の人口予測値に応じてセルを塗りつぶして、地域別人口密度を表示している。

30年後



総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け	Blue	Light Blue	Light Blue	Light Orange	Orange	Red

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

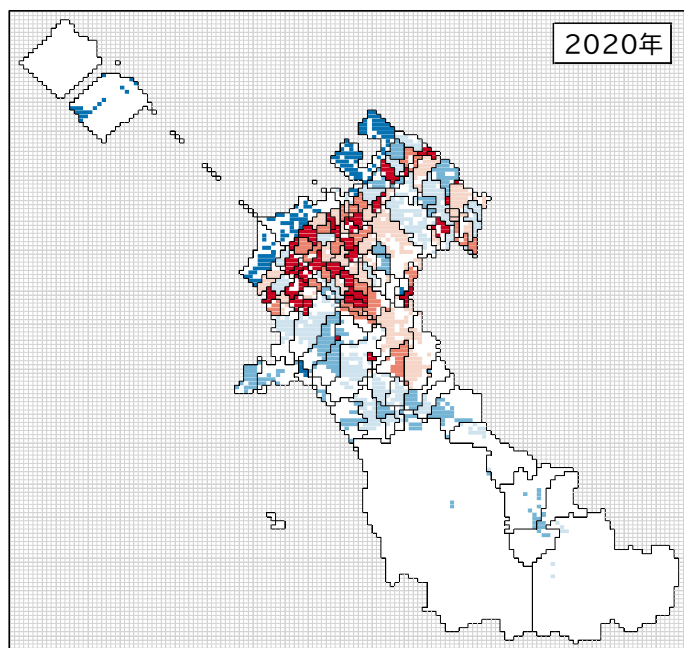
No.1－4

【人口】地域別人口密度(泉佐野市)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

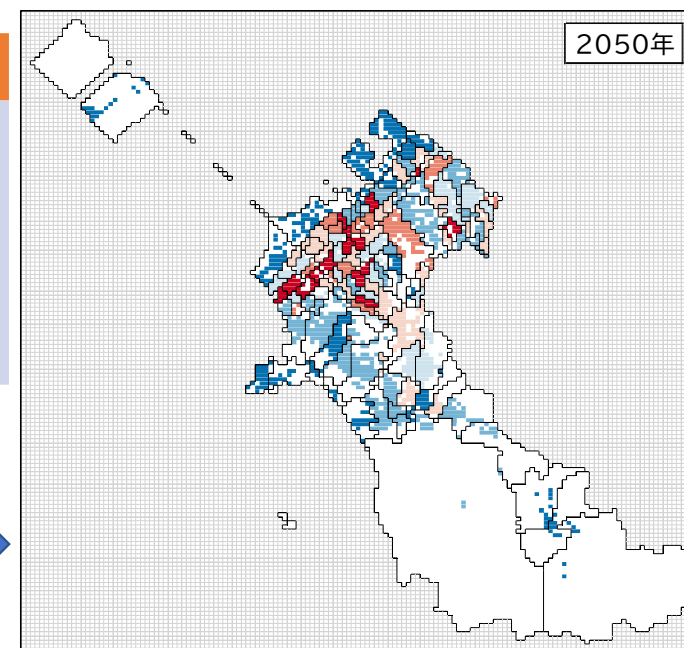
2020年から2050年にかけて、泉佐野市の広範囲において人口密度が低下する。



地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを100m×100mの正方形のメッシュに見立て、メッシュ毎の人口予測値に応じてセルを塗りつぶして、地域別人口密度を表示している。

30年後



総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け	Blue	Light Blue	Light Blue	Light Orange	Orange	Red

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

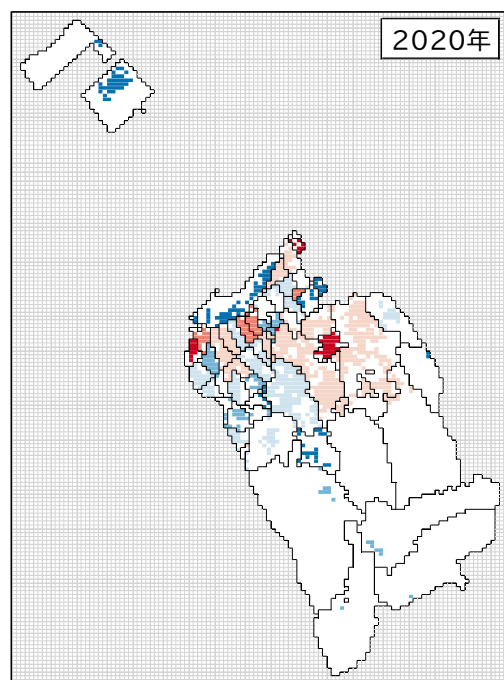
No.1－4

【人口】地域別人口密度(泉南市)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

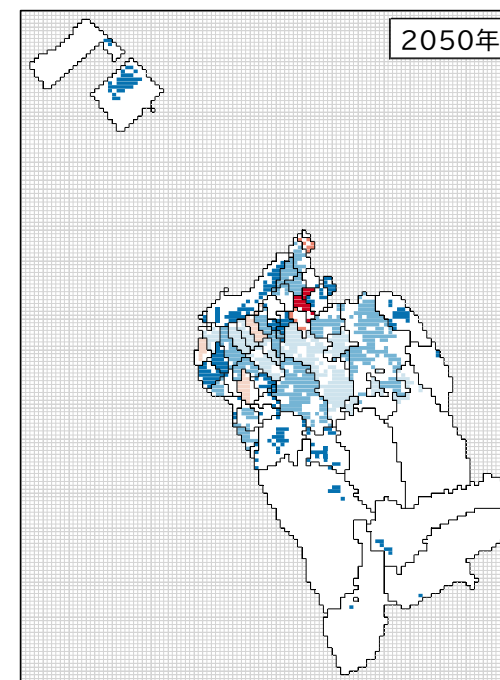
2020年から2050年にかけて、泉南市の広範囲において人口密度が低下する。



地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを
100m×100mの正方形の
メッシュに見立て、メッシュ毎
の人口予測値に応じてセルを
塗りつぶして、地域別人口密度
を表示している。

30年後



総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け						

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

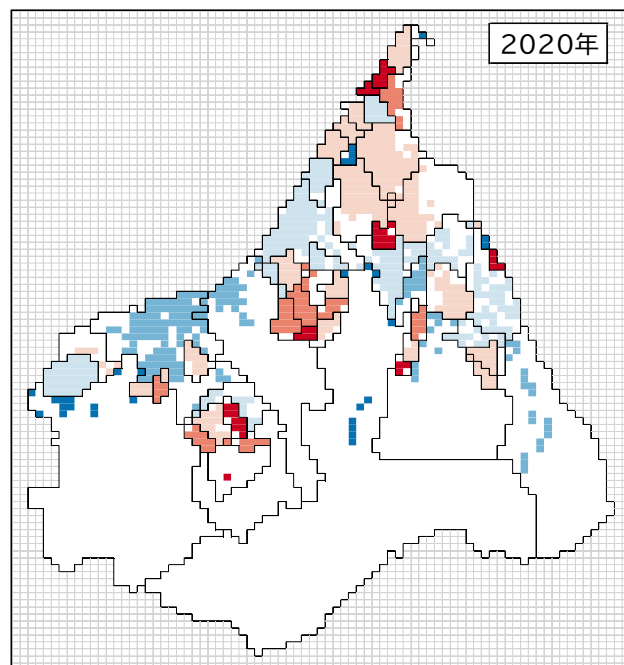
No.1－4

【人口】地域別人口密度(阪南市)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

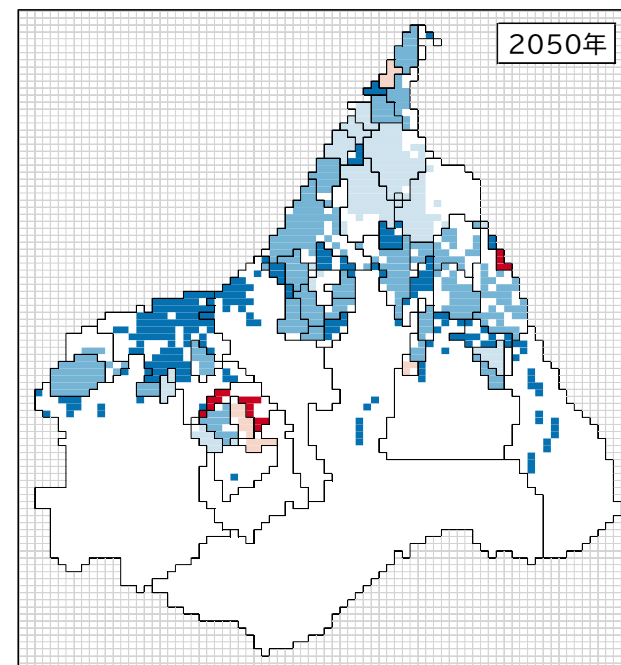
2020年から2050年にかけて、阪南市の広範囲において人口密度が低下する。



地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを
100m×100mの正方形の
メッシュに見立て、メッシュ毎
の人口予測値に応じてセルを
塗りつぶして、地域別人口密度
を表示している。

30年後



総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け	赤	オレンジ	黄緑	緑	青	濃青

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

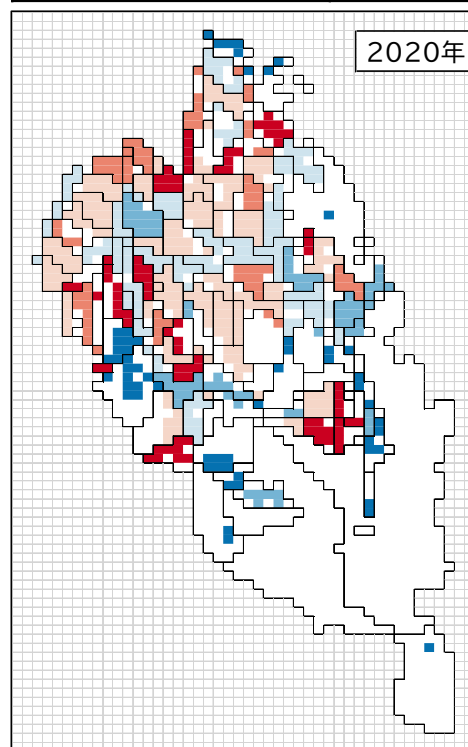
No.1－4

【人口】地域別人口密度(熊取町)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

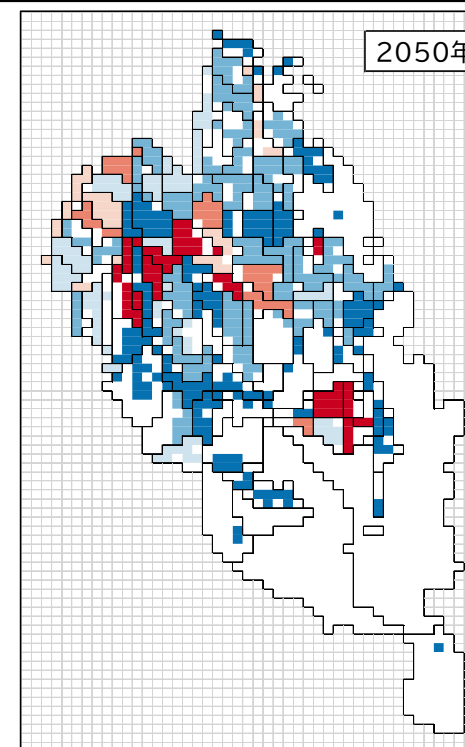
2020年から2050年にかけて、熊取町の広範囲において人口密度が低下する。



地域別人口密度とは…

ワークシートの1セルを
100m×100mの正方形の
メッシュに見立て、メッシュ毎
の人口予測値に応じてセルを
塗りつぶして、地域別人口密度
を表示している。

30年後



総人口	20未満	20以上40未満	40以上60未満	60以上80未満	80以上100未満	100以上
地図上の色分け						

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

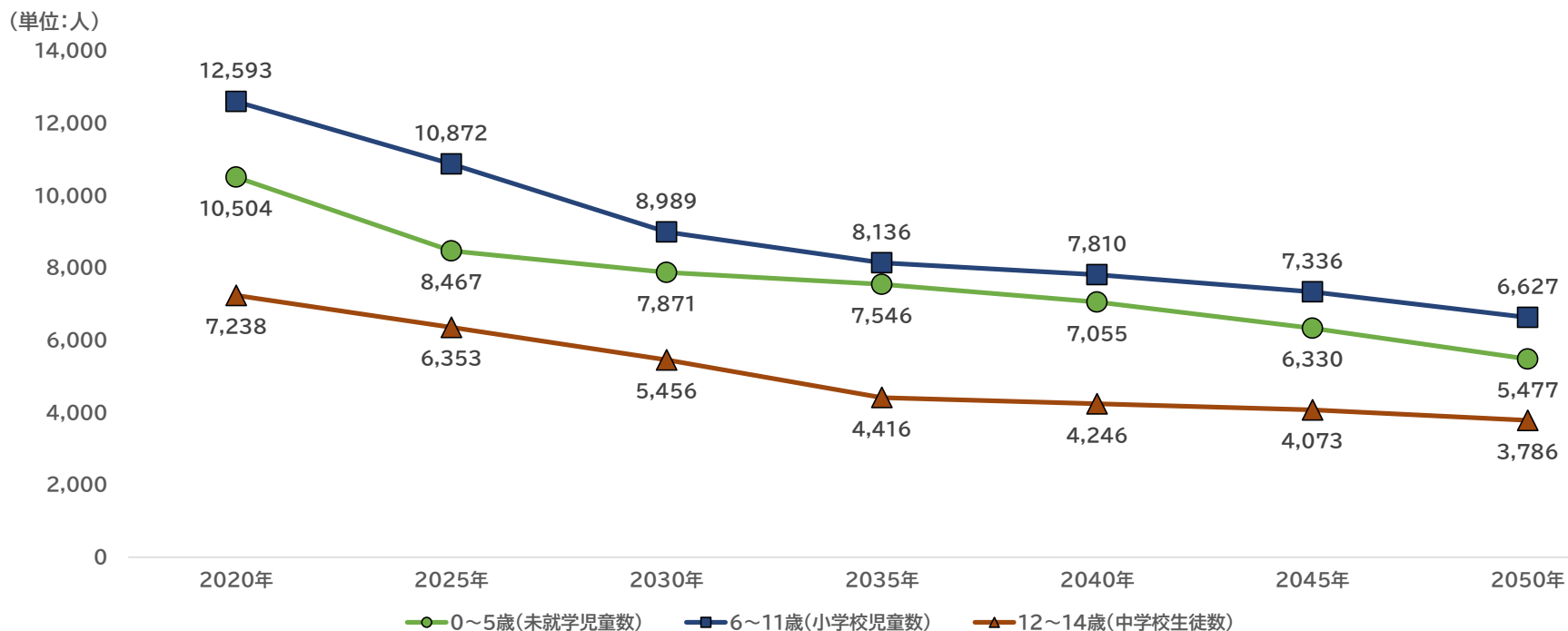
No.1-5

【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

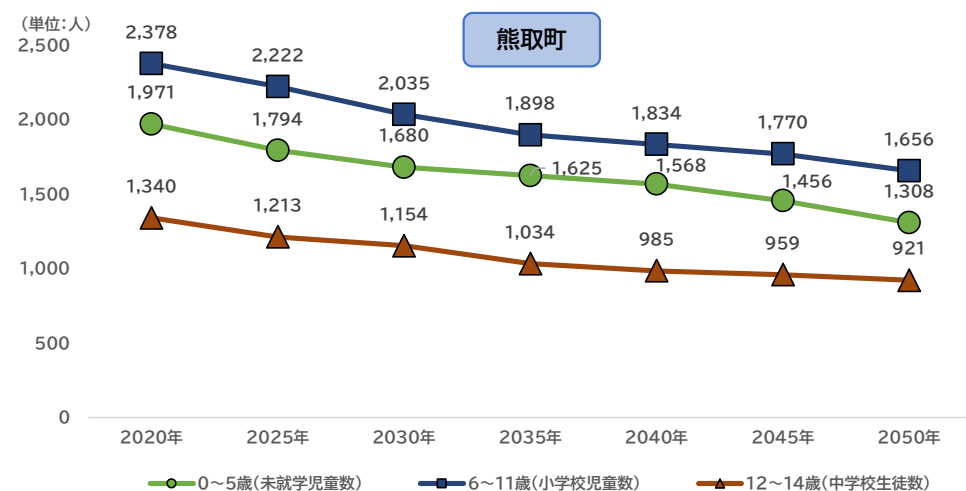
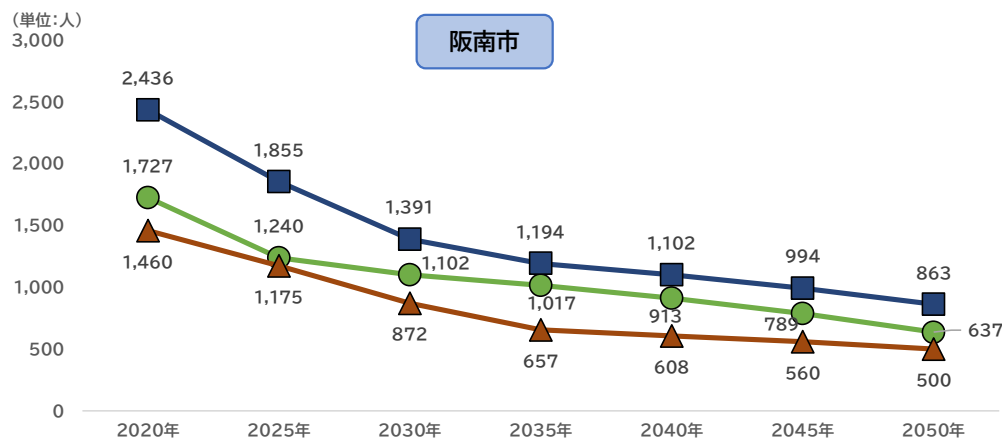
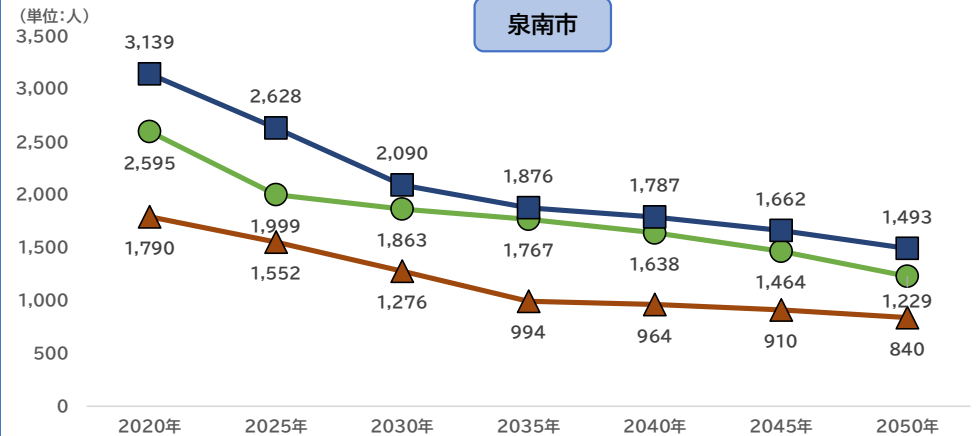
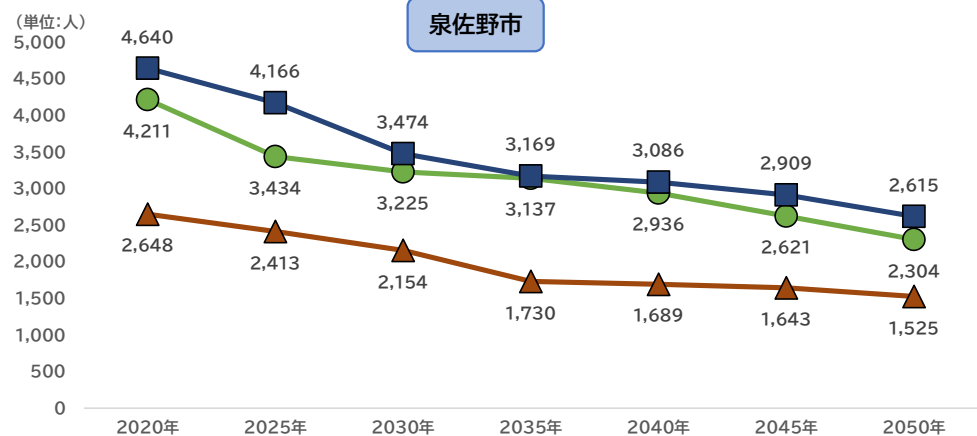
未就学児数は5,027人の減少(▲47.9%)、小学校児童数は5,966人の減少(▲47.4%)、中学校生徒数は3,452人の減少(▲47.7%)が見込まれる。



No.1-5

【人口】未就学児・小中学校児童生徒数(各市町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成



● 0~5歳(未就学児童数) ■ 6~11歳(小学校児童数) ▲ 12~14歳(中学校生徒数)

No.2-1

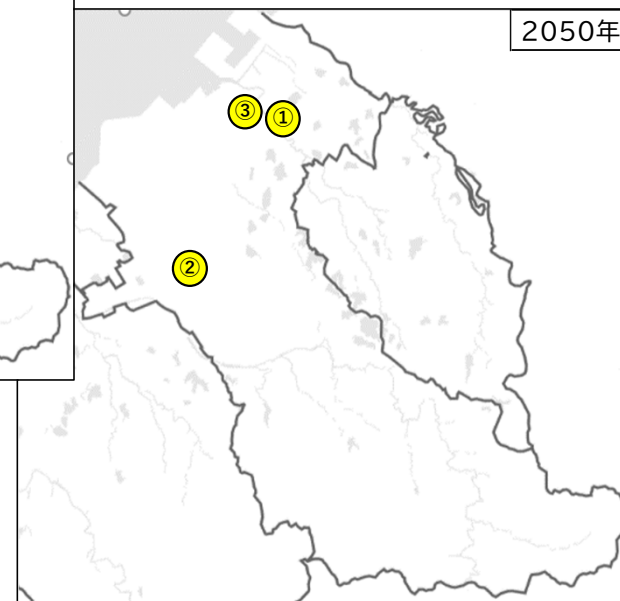
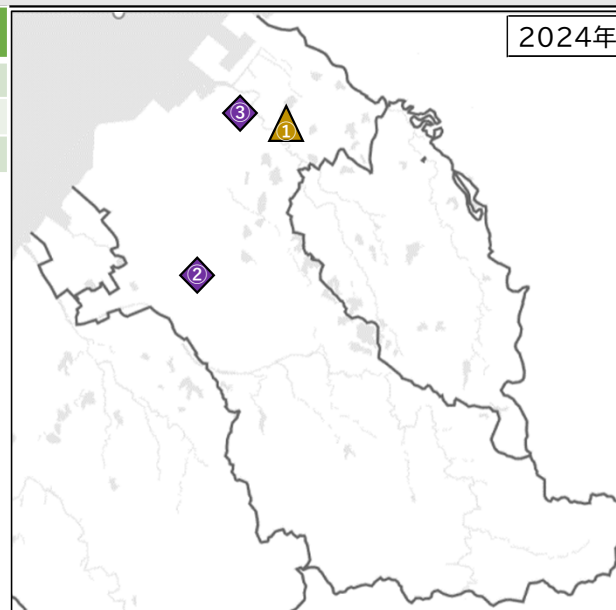
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (保育所、幼稚園、認定こども園)(泉佐野市)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築50年以上に達し、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	認定こども園	のぞみこども園	1993年	31年	57年
②		はるかこども園	1997年	27年	53年
③		さくらこども園	1999年	25年	51年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-1

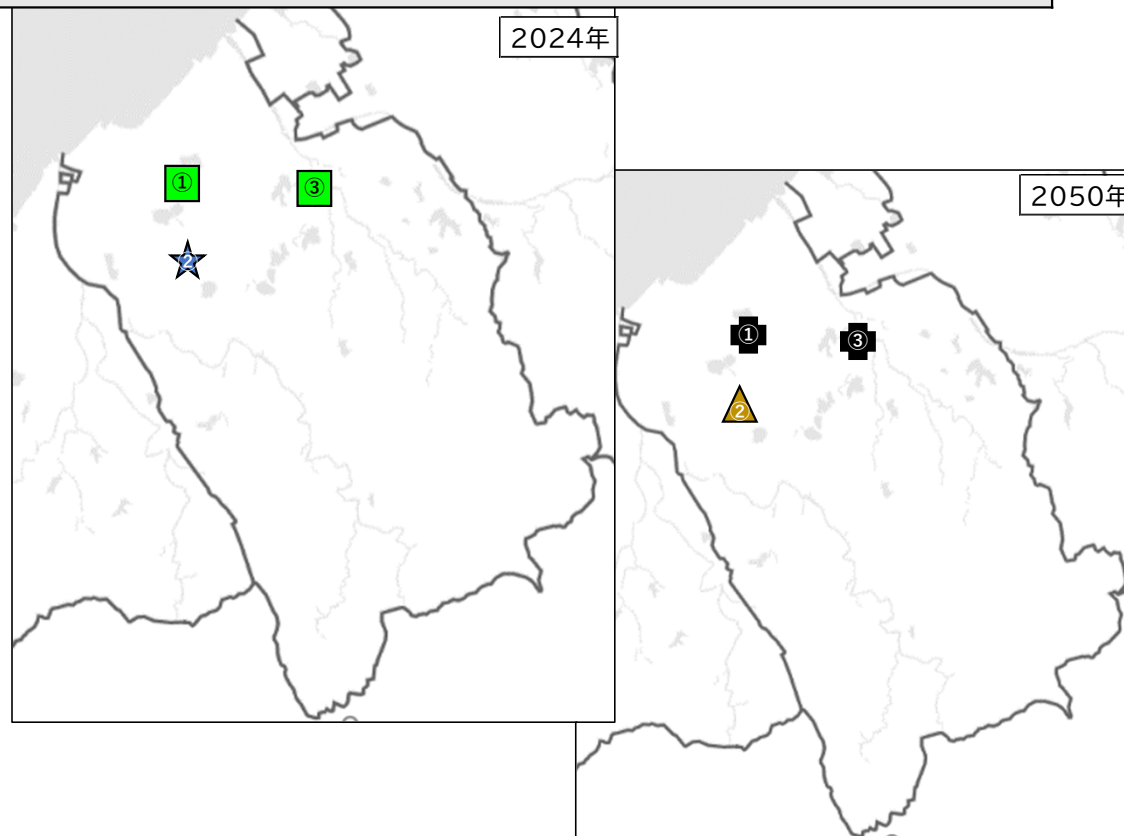
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (保育所、幼稚園、認定こども園)(泉南市)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、築80年以上に達する施設もあり、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	認定こども園	なるにっこ認定こども園	1974年	50年	76年
②	幼稚園	くすのき幼稚園	2011年	13年	39年
③		あおぞら幼稚園	1976年	48年	74年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-1

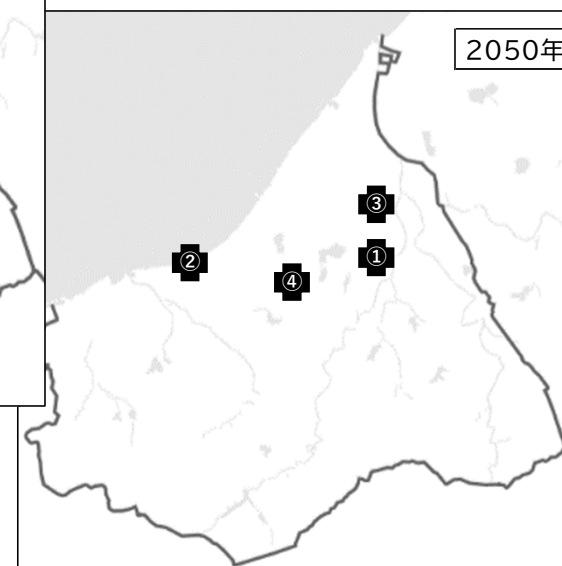
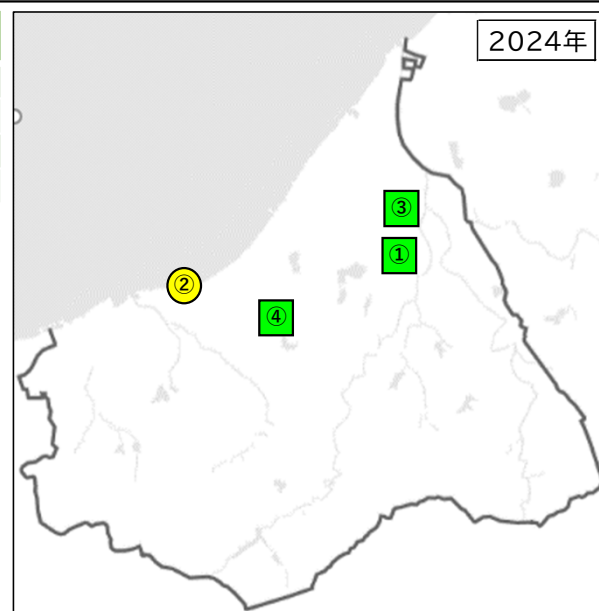
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (保育所、幼稚園、認定こども園)(阪南市)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築70年以上に達し、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	保育所	市立石田保育所	1974年	50年	76年
②		市立下荘保育所	1970年	54年	80年
③	幼稚園	市立はあと幼稚園	1974年	50年	76年
④		市立まい幼稚園	1975年	49年	75年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-1

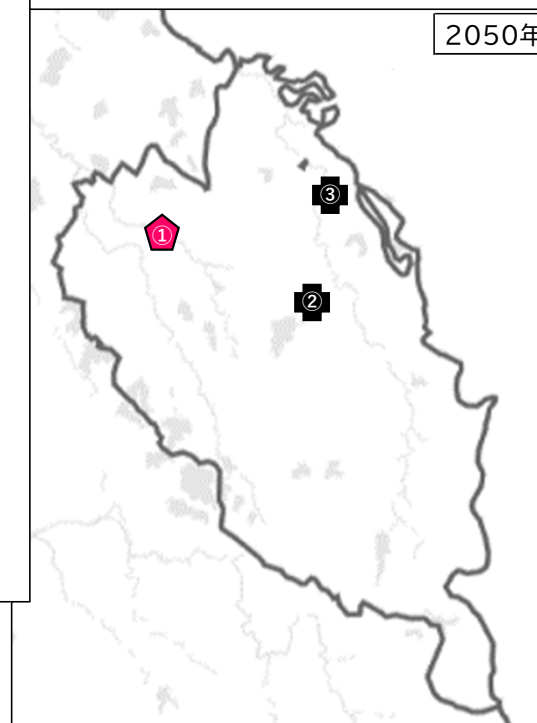
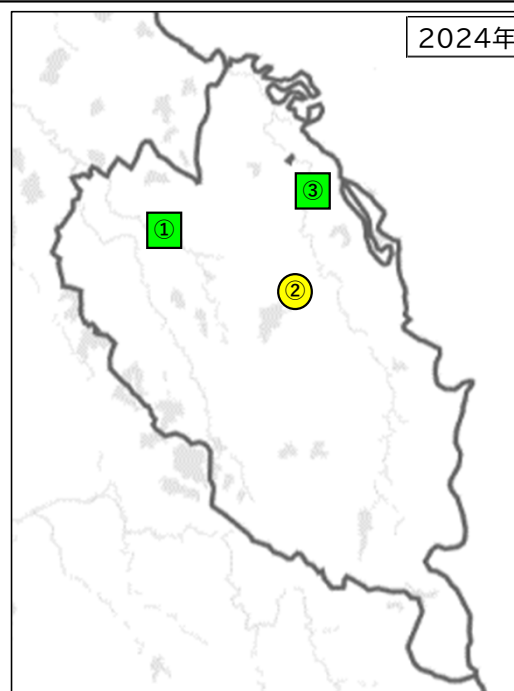
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (保育所、幼稚園、認定こども園)(熊取町)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築70年以上に達し、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	保育所	中央保育所	1982年	42年	68年
②		東保育所	1972年	52年	78年
③		北保育所	1979年	45年	71年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-2

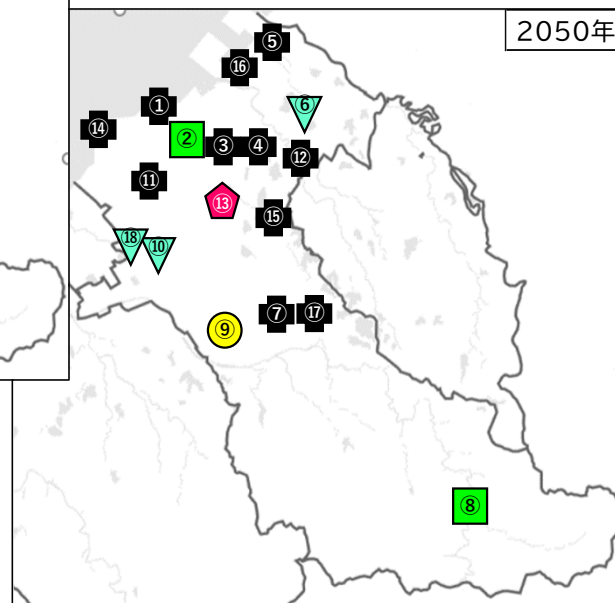
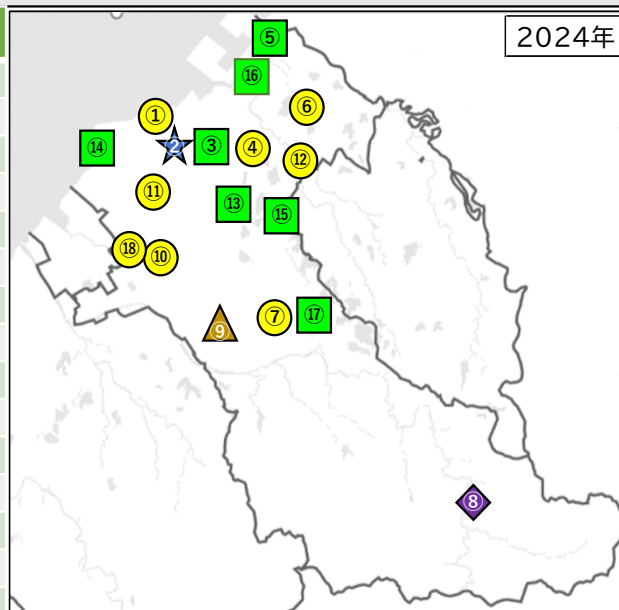
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (小・中学校)(泉佐野市)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築70年以上に達し、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	小学校	第一小学校	1972年	52年	78年
②		第二小学校	2009年	15年	41年
③		第三小学校	1975年	49年	75年
④		日新小学校	1970年	54年	80年
⑤		北中小学校	1977年	47年	73年
⑥		長坂小学校	1965年	59年	85年
⑦		日根野小学校	1970年	54年	80年
⑧		大木小学校	2000年	24年	50年
⑨		上之郷小学校	1990年	34年	60年
⑩		長南小学校	1964年	60年	86年
⑪		末広小学校	1971年	53年	79年
⑫		佐野台小学校	1972年	52年	78年
⑬		中央小学校	1980年	44年	70年
⑭	中学校	佐野中学校	1974年	50年	76年
⑮		新池中学校	1975年	49年	75年
⑯		第三中学校	1974年	50年	76年
⑰		日根野中学校	1979年	45年	71年
⑱		長南中学校	1965年	59年	85年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✖	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-2

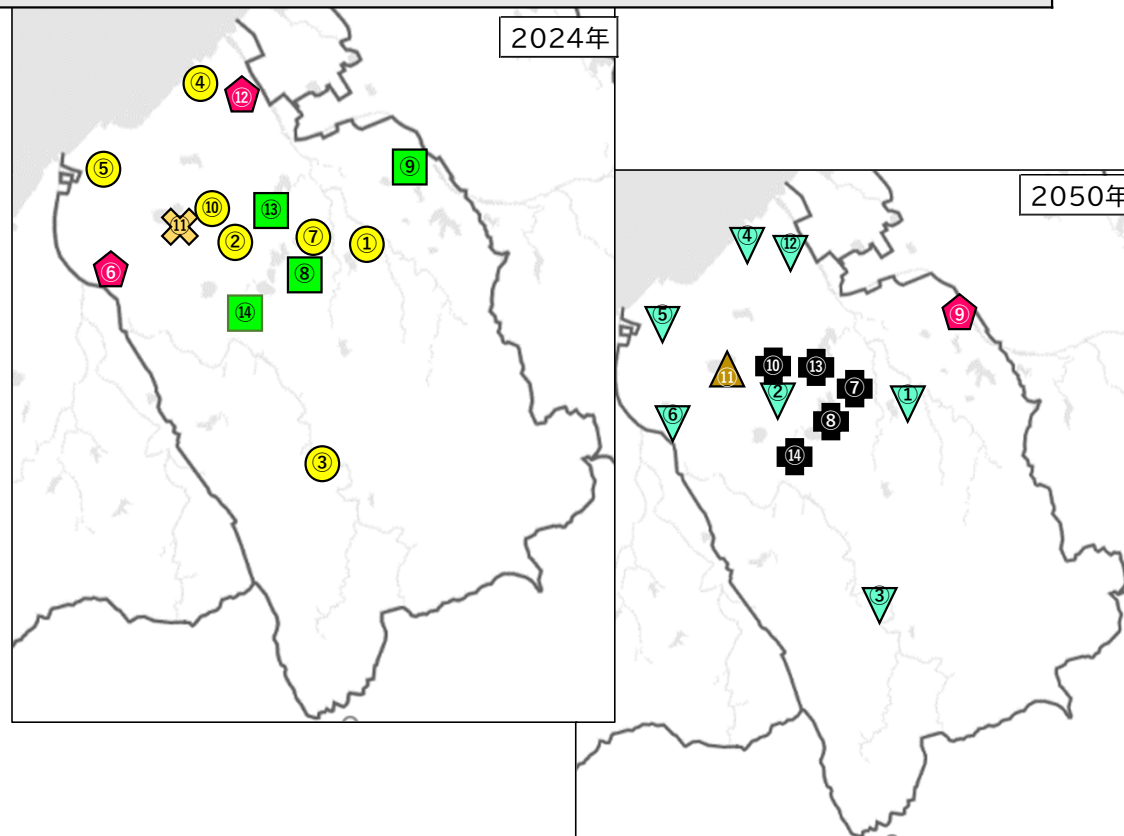
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (小・中学校)(泉南市)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、築80年以上に達する施設もあり、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	小学校	新家小学校	1967年	57年	83年
②		信達小学校	1965年	59年	85年
③		東小学校	1966年	58年	84年
④		西信達小学校	1965年	59年	85年
⑤		樽井小学校	1967年	57年	83年
⑥		雄信小学校	1963年	61年	87年
⑦		一丘小学校	1973年	51年	77年
⑧		砂川小学校	1975年	49年	75年
⑨		新家東小学校	1981年	43年	69年
⑩		鳴滝小学校	1973年	51年	77年
⑪	中学校	泉南中学校	2019年	5年	31年
⑫		西信達中学校	1958年	66年	92年
⑬		一丘中学校	1975年	49年	75年
⑭		信達中学校	1977年	47年	73年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✕	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-2

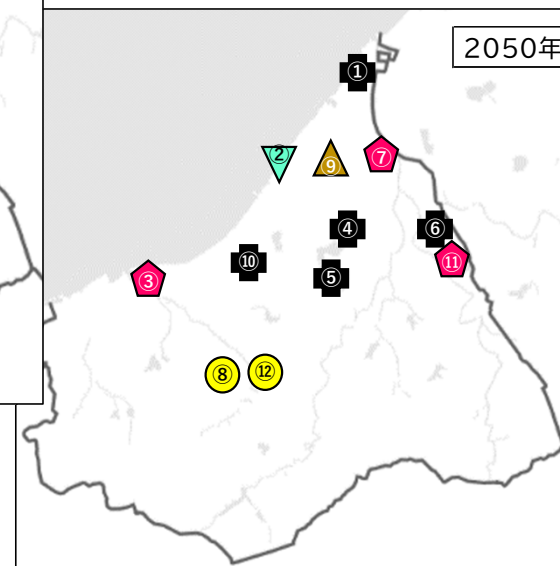
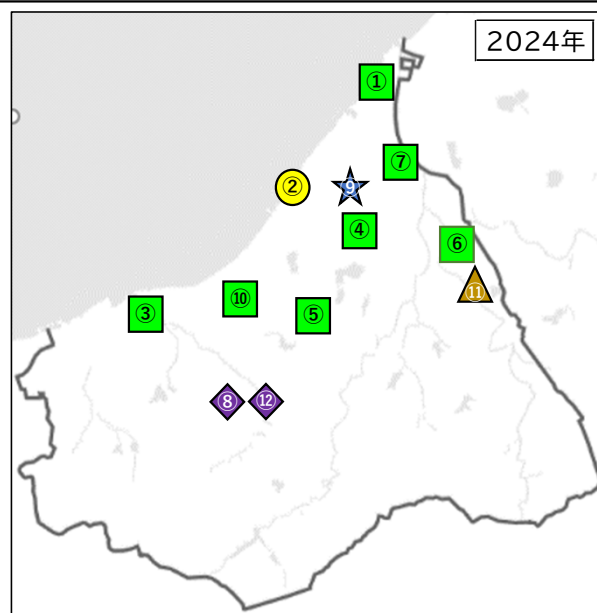
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (小・中学校)(阪南市)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築70年以上に達し、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	小学校	尾崎小学校	1979年	45年	71年
②		西鳥取小学校	1968年	56年	82年
③		下荘小学校	1982年	42年	68年
④		東鳥取小学校	1974年	50年	76年
⑤		舞小学校	1975年	49年	75年
⑥		朝日小学校	1978年	46年	72年
⑦		上荘小学校	1981年	43年	69年
⑧	中学校	桃の木台小学校	1996年	28年	54年
⑨		鳥取中学校	2011年	13年	39年
⑩		貝掛中学校	1975年	49年	75年
⑪		鳥取東中学校	1985年	39年	65年
⑫		飯の峯中学校	1996年	28年	54年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✖	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-2

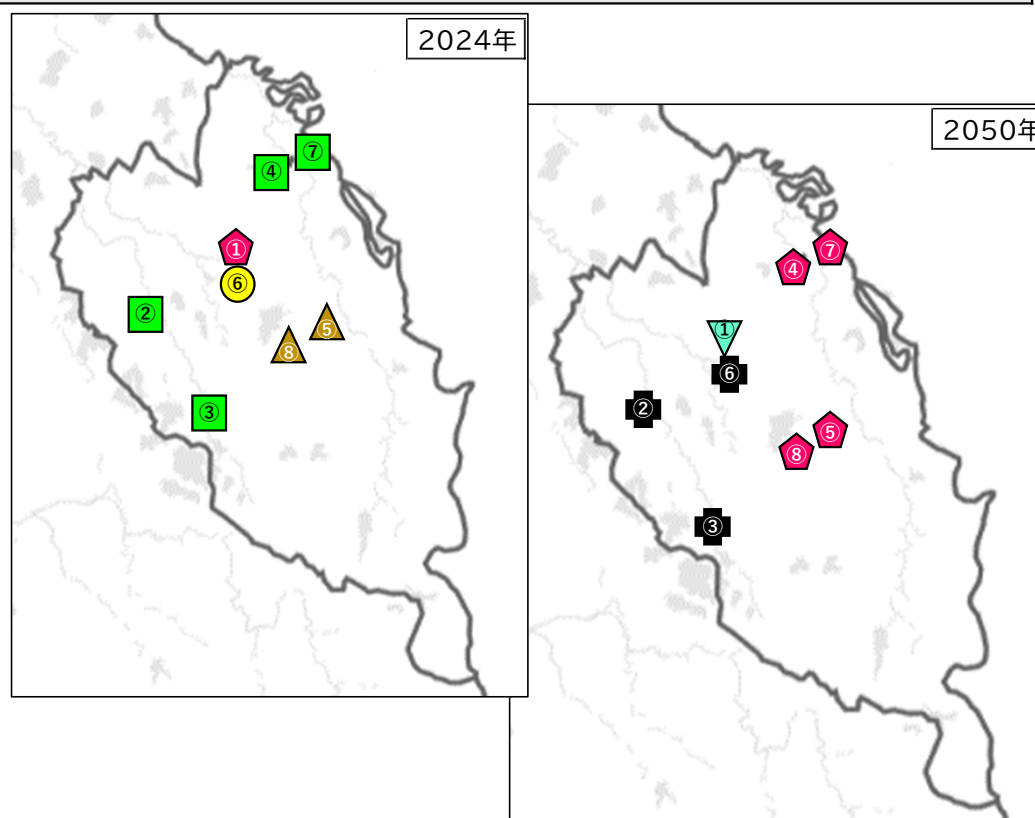
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (小・中学校)(熊取町)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築70年以上に達し、老朽化が進む。

番号	施設区分	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	小学校	中央小学校	1958年	66年	92年
②		西小学校	1975年	49年	75年
③		南小学校	1975年	49年	75年
④		北小学校	1981年	43年	69年
⑤		東小学校	1985年	39年	65年
⑥	中学校	熊取中学校	1973年	51年	77年
⑦		熊取北中学校	1980年	44年	70年
⑧		熊取南中学校	1989年	35年	61年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-3

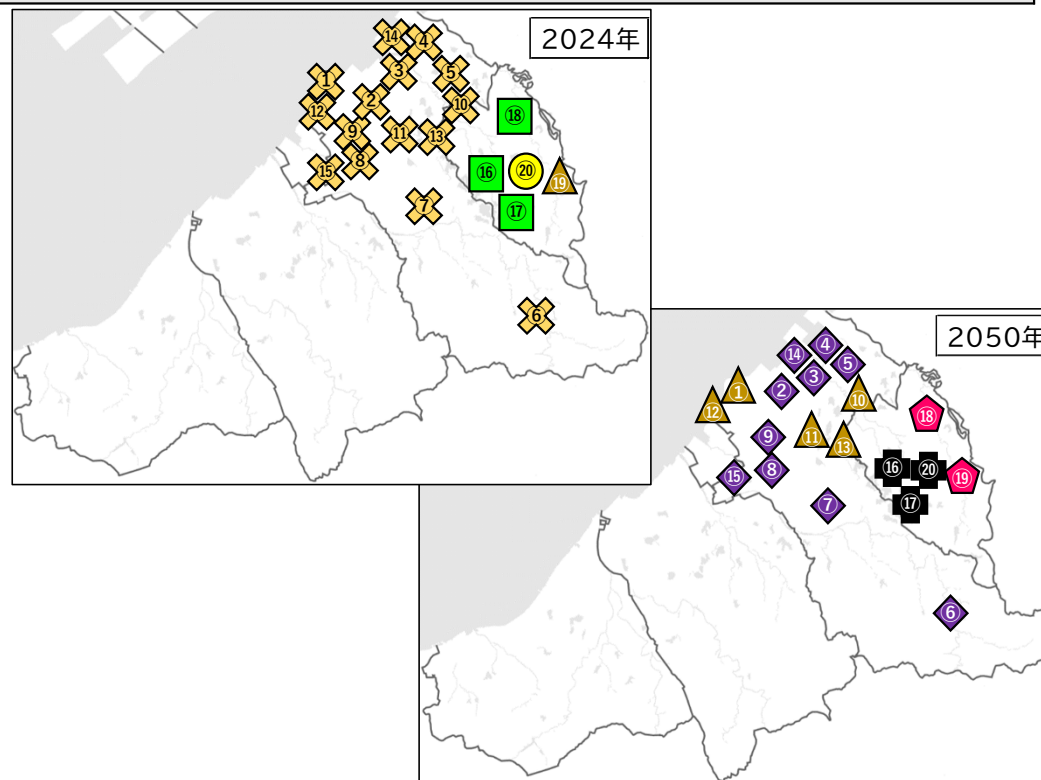
【施設・インフラ】公共施設の基本情報(小・中学校プール)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、熊取町の施設が築60年以上に達し、老朽化が進む。

番号	市町村名	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	泉佐野市	第二小学校プール	2019年	5年	31年
②		第三小学校プール	2020年	4年	30年
③		日新小学校プール	2021年	3年	29年
④		北中小学校プール	2020年	4年	30年
⑤		長坂小学校プール	2020年	4年	30年
⑥		大木小学校プール	2020年	4年	30年
⑦		上之郷小学校プール	2021年	3年	29年
⑧		長南小学校プール	2023年	1年	27年
⑨		末広小学校プール	2020年	4年	30年
⑩		佐野台小学校プール	2018年	6年	32年
⑪		中央小学校プール	2019年	5年	31年
⑫		佐野中学校プール	2018年	6年	32年
⑬		新池中学校プール	2018年	6年	32年
⑭		第三中学校プール	2021年	3年	29年
⑮		長南中学校プール	2023年	1年	27年
⑯	熊取町	西小学校プール	1976年	48年	74年
⑰		南小学校プール	1976年	48年	74年
⑱		北小学校プール	1981年	43年	69年
⑲		東小学校プール	1985年	39年	65年
⑳		熊取中学校プール	1973年	51年	77年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✕	★	◆	▲	■	●	⬠	✖	▼

No.2-4

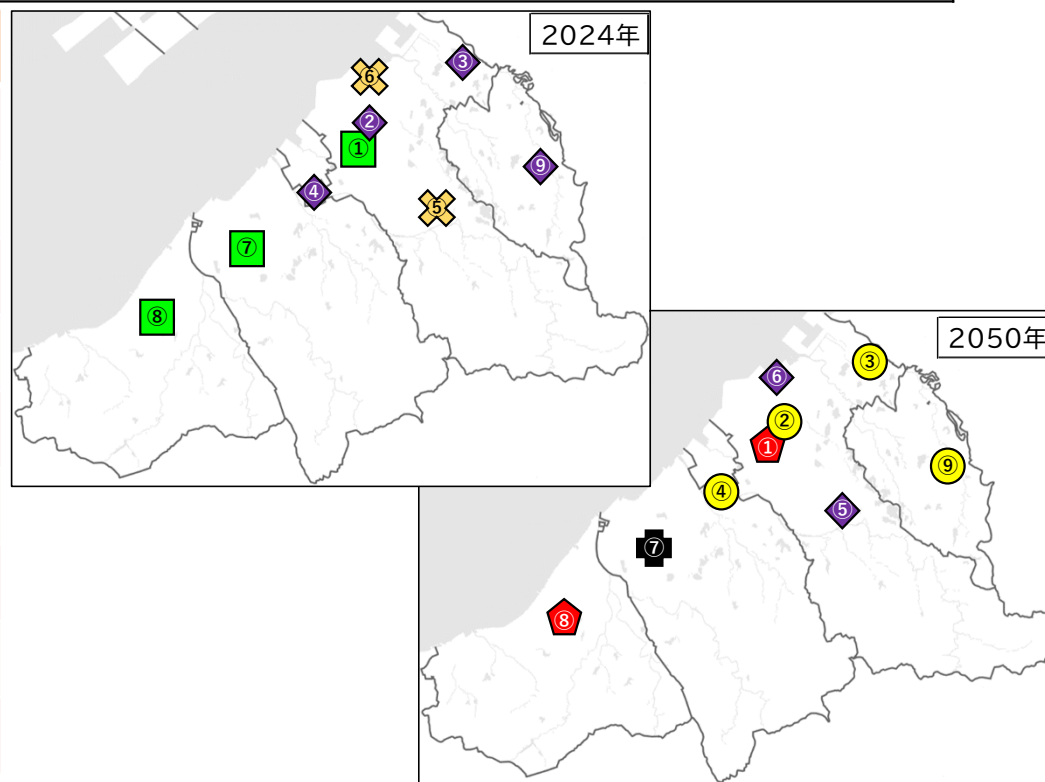
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (体育館・公営プール)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築50年以上に達し、老朽化が進む。

番号	市町村名	施設名	建築年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)	備考
①	泉佐野市	泉佐野市立 市民総合体育館	1981年	43年	69年	【延床面積】:6,030.16㎡
②		泉佐野市立 健康増進 センター	1997年	27年	53年	【延床面積】:5,945.93㎡
③		泉佐野市立 北部市民交流 センター体育分館	1997年	27年	53年	【延床面積】:1,506.21㎡
④		泉佐野市立 南部市民交流 センター体育分館	1997年	27年	53年	【延床面積】:2,019.03㎡
⑤		泉佐野市立 日根野市民プール	2020年	4年	30年	【延床面積】:165.81㎡
⑥		泉佐野市立 りんくう市民プール	2022年	2年	28年	
⑦	泉南市	泉南市立市民体育館	1977年	47年	73年	【延床面積】:4,270㎡
⑧	阪南市	阪南市立総合体育館	1982年	42年	68年	【延床面積】:4,068㎡
⑨	熊取町	熊取町立総合体育館	1996年	28年	54年	【延床面積】:9,159.5㎡ ※屋内プール施設併設



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✖	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-5

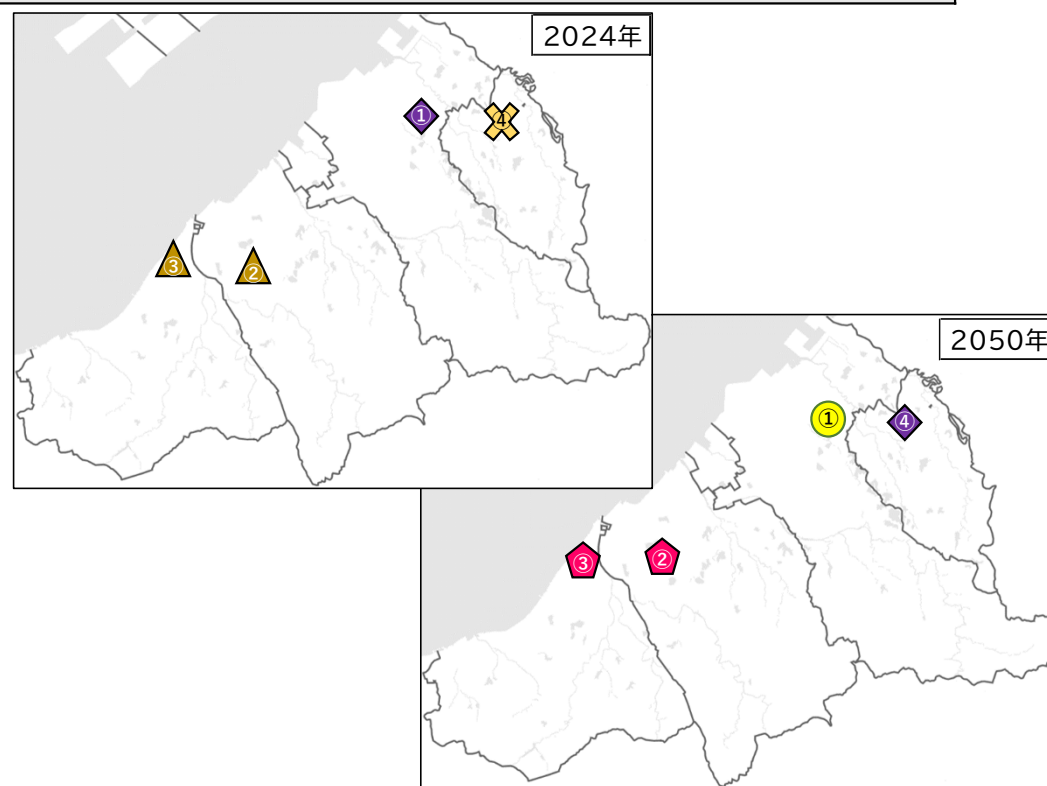
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (文化ホール)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築約50年以上に達し、老朽化が進む。

番号	市町村名	施設名	建築年	築年数 (2024年時 点)	築年数 (2050年時 点)
①	泉佐野市	泉佐野市立文化会館	1996年	28年	54年
②	泉南市	泉南市立文化ホール	1984年	40年	66年
③	阪南市	阪南市立文化センター	1989年	35年	61年
④	熊取町	熊取町立文化ホール	2024年	0年	26年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✕	★	◆	▲	■	●	◇	■	▼

No.2-5

【施設・インフラ】公共施設の基本情報
(文化ホール)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

市町村名	施設名	改築までの改修経費		年間運転経費	
泉佐野市	泉佐野市立文化会館	4,307,526千円	R14:2,153,763千円 R15:2,153,763千円	221,485千円	指定管理委託料:221,485千円
泉南市	泉南市立文化ホール	—	—	66,862千円	経費内訳を明確に分けることが出来ないため、令和5年度決算(款)教育費(項)社会教育費(目)図書館及びホール費のうち人件費事業、図書館運営事業、文化ホール指定管理事業、図書館文化ホール改修事業の合計を延床面積で按分した数値を記入。
阪南市	阪南市立文化センター	2,641,428千円	・建物・設備等の大規模改修(外装、内装の改修、断熱化等のエコ改修、トイレ改修、空調設置等) ・長寿命化改修(コンクリート中性化対策、鉄器の腐食の対策、耐久性に優れた仕上げ材への取り換え等) ※図書館との複合施設であるため延床面積で按分。	124,770千円	指定管理料:124,770千円 ※図書館と一体的に指定管理を行っているため、指定管理料は延床面積で按分。
熊取町	熊取町立文化ホール	—	—	56,339千円	人件費:12,129千円 運営費:38,300千円 維持管理費:5,910千円

No.2-6

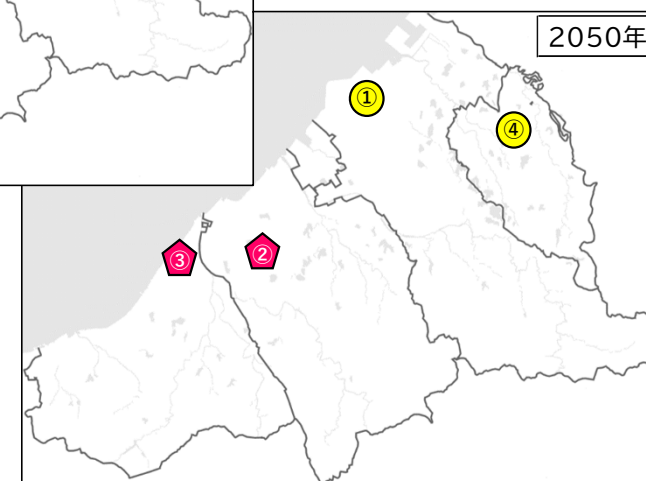
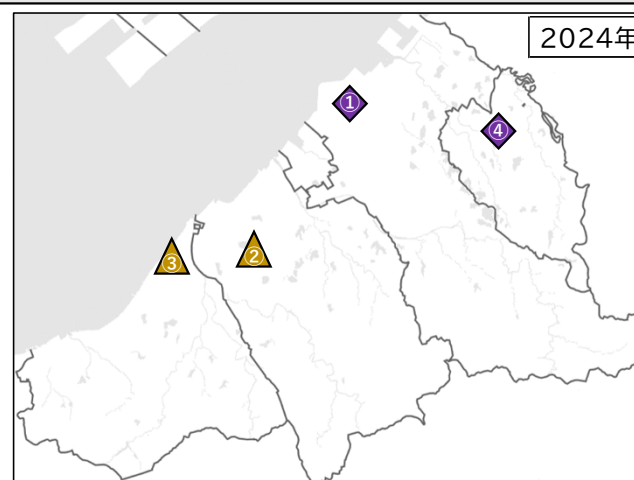
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (図書施設)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、全ての施設が築50年以上に達し、老朽化が進む。

番号	市町村名	施設名	建築年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	泉佐野市	泉佐野市立中央図書館	1996年	28年	54年
②	泉南市	泉南市立図書館	1984年	40年	66年
③	阪南市	阪南市立図書館	1989年	35年	61年
④	熊取町	熊取町立熊取図書館	1994年	30年	56年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✖	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-6

【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (図書施設)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

市町村名	施設名	改築までの改修経費		年間運転経費	
泉佐野市	泉佐野市立中央図書館	866,800千円	R16:433,400千円 R17:433,400千円	166,188千円	講演会報酬(講師・手話通訳):641千円 消耗品費:16千円 食料(講師昼食):2千円 光熱水費(佐野まちライブラリー):120千円 図書館指定管理料:134,289千円 図書館電算システム保守等委託料:17,237千円 佐野まちライブラリー窓口業務委託:6,611千円 行事(プラレールイベント)運営委託:893千円 駅構内予約受取ロッカー貸出・返却ポスト回収業務委託:1,300千円 佐野まちライブラリー賃借料:1,200千円 電算回線使用料:197千円 講演会場使用料:73千円 出張旅費(図書館大会参加):51千円 参加費:7千円 佐野まちライブラリー賃借料:1,200千円 備品購入費(予約受取用ロッカー・返却ポスト):1,249千円 図書購入費(寄付):1,100千円
泉南市	泉南市立図書館	—	—	40,581千円	経費内訳を明確に分けることが出来ないため、令和5年度決算(款)教育費(項)社会教育費(目)図書館及びホール費のうち人件費事業、図書館運営事業、文化ホール指定管理事業、図書館文化ホール改修事業の合計を延床面積で按分した数値を記入。
阪南市	阪南市立図書館	447,760千円	建物・設備等の大規模改修(外装、内装の改修、断熱化等のエコ改修、トイレ改修、空調設置等)および長寿命化改修(コンクリート中性化対策、鉄道の腐食の対策、耐久性に優れた仕上げ材への取り換え等 ※文化センターとの複合施設であるため、延床面積で按分	27,241千円	指定管理料:21,152千円(文化センター指定管理料と延床面積で按分) システム保守管理委託料:3,689千円 図書費等相当分指定管理料:2,400千円
熊取町	熊取町立熊取図書館	641,383千円	施設修繕費:900千円×25年 大規模改修:463,883千円 空調機器更新:100,000千円 電気設備更新:30,000千円 その他臨時的修繕料:1,000千円×25年	128,307千円	運営費:108,210千円(うち人件費:81,309千円) 施設管理費:19,076千円 その他事業費:1,021千円

No.2-7

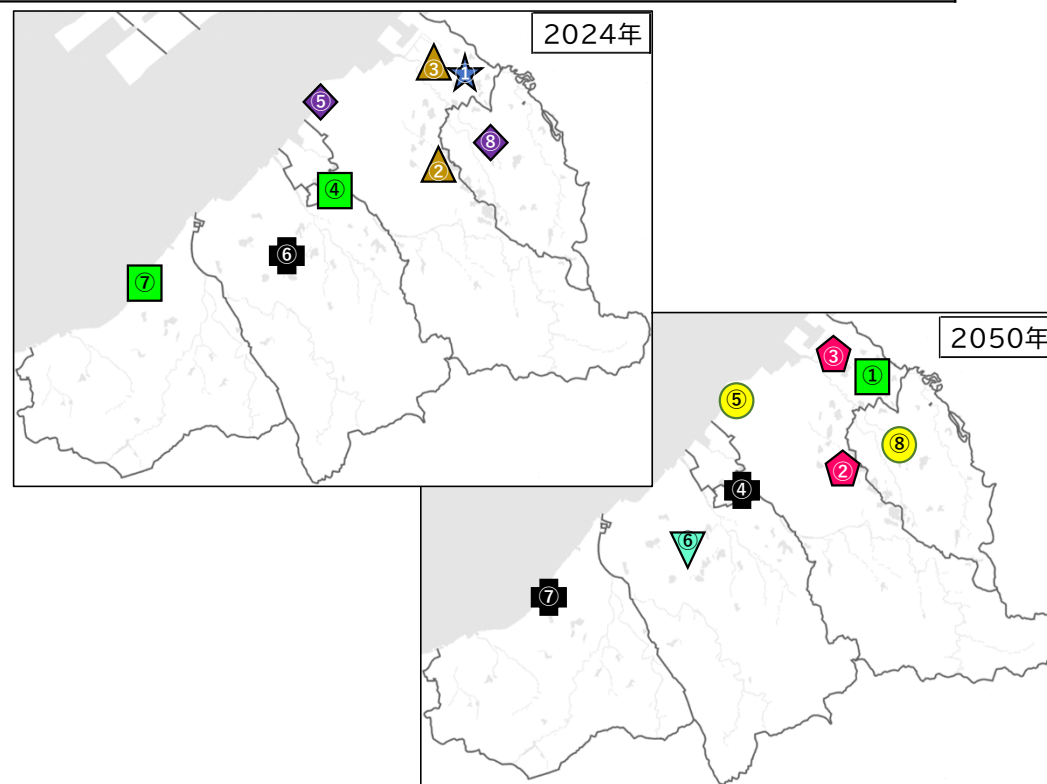
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (子育て支援施設)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築約50年以上に達し、老朽化が進む。

番号	市町村名	施設名	建築年	築年数 (2024年時 点)	築年数 (2050年時 点)
①	泉佐野市	次世代育成地域交流 センター つくしんぼ	2009年	15年	41年
②		次世代育成地域交流 センター分館わたぼうし	1984年	40年	66年
③		北部市民交流センター 青少年分館	1987年	37年	63年
④		南部市民交流センター 青少年分館	1978年	46年	72年
⑤		親子教室	1995年	29年	55年
⑥	泉南市	子ども総合支援センター	1951年	73年	99年
⑦	阪南市	子育て総合支援センター	1979年	45年	71年
⑧	熊取町	熊取ふれあいセンター	1999年	25年	51年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-7

【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (子育て支援施設)

出典:各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

市町村名	施設名	改築までの改修経費		年間運転経費	
泉佐野市	次世代育成地域交流センター つくしんぼ	102,652千円	R31:51,326千円 R32:51,326千円	25,201千円	報償費:226千円 旅費:21千円 消耗品費:475千円 印刷製本費:19千円 光熱水費:1,074千円 医薬材料費:6千円 役務費:244千円 委託料:5,980千円 使用料及び賃借料:1,185千円 備品購入費:87千円 人件費:15,877千円
	次世代育成地域交流センター分館わたぼうし	96,350千円	R7:48,175千円 R8:48,175千円	19,400千円	報償費:36千円 消耗品費:301千円 燃料費:24千円 光熱水費:358千円 医薬材料費:6千円 役務費:92千円 委託料:15千円 使用料及び賃借料:2,688千円 人件費:15,877千円
	北部市民交流センター 青少年分館	113,968千円	R9:56,984千円 R10:56,984千円	135,040千円 ※「北部市民交流センター」 全体の金額	指定管理委託料:135,040千円 ※「北部市民交流センター」全体の金額
	南部市民交流センター 青少年分館	308,088千円	R40:154,044千円 R41:154,044千円	136,568千円 ※「南部市民交流センター」 全体の金額	指定管理委託料:136,568千円 ※「南部市民交流センター」全体の金額

No.2-7

【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (子育て支援施設)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

市町村名	施設名	改築までの改修経費		年間運転経費	
泉佐野市	親子教室	141,610千円	R16:70,805千円 R17:70,805千円	13,024千円	報償費:65千円 旅費:11千円 消耗品費:150千円 食糧費:16千円 光熱水費:906千円 医薬材料費:4千円 役務費:237千円 委託料:2,268千円 使用料及び賃借料:53千円 備品購入費:118千円 人件費:9,192千円
泉南市	子ども総合支援センター	—	—	3,714千円	人件費:1,395千円 管理費:2,319千円
阪南市	子育て総合支援センター	—	—	9,678千円	地域子育て支援拠点事業委託料:4,747千円 駐車場賃借料:300千円 ファミリー・サポート・センター事業委託料:2,820千円 子育て総合支援センター運営費:1,811千円
熊取町	熊取ふれあいセンター	326,000千円	外壁・屋根の改修:約194,000千円 自家発電機・窓ガラスの強化: 約112,000千円 エレベーター更新:約20,000千円 ※熊取町個別施設設計(令和3年2月策定)より	205,000千円	令和5年度総合保健福祉センター維持管理事業の決算額を記載

No.2-8

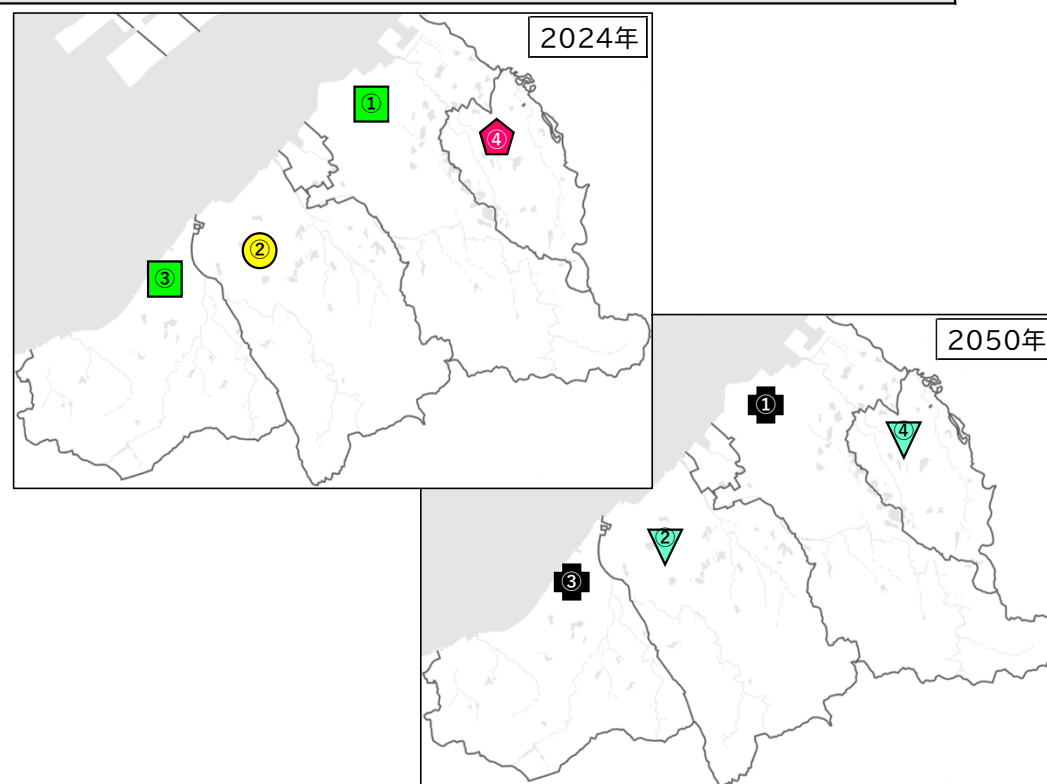
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (庁舎)

出典：各市町公共施設等総合管理計画

推計結果の概要

2050年には、全ての施設が築約70年以上に達し、老朽化が進む。

番号	市町村名	建築年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	泉佐野市	1974年	50年	76年
②	泉南市	1965年	59年	85年
③	阪南市	1975年	49年	75年
④	熊取町	1963年	61年	87年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	⬠	⬢	▼

No.2-9

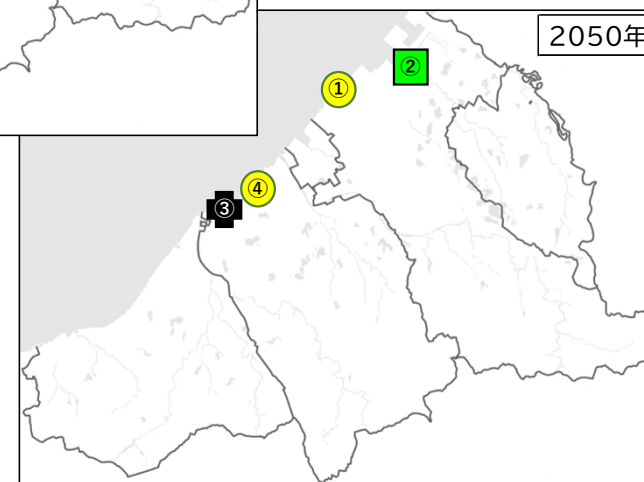
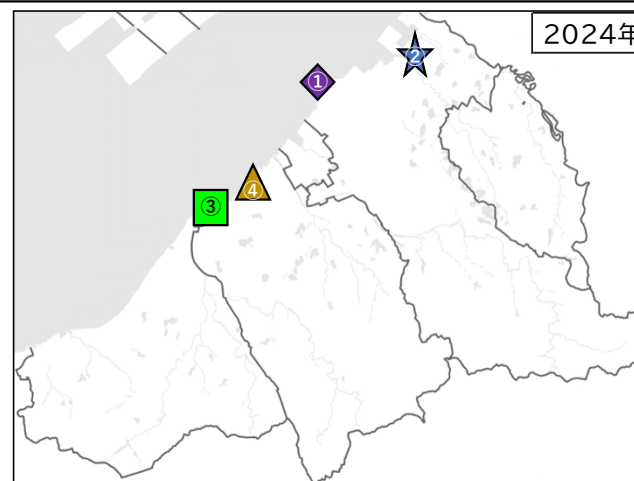
【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (雨水ポンプ施設)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

2050年には、多くの施設が築約50年以上に達し、老朽化が進む。

番号	市町村名	施設名	竣工(改築)年	築年数 (2024年時点)	築年数 (2050年時点)
①	泉佐野市	中央ポンプ場	1994年	30年	56年
②		北ポンプ場	2007年	17年	43年
③	泉南市	大里川ポンプ場	1977年	47年	73年
④		中部ポンプ場	1992年	32年	58年



築年数	0～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71～80年	81年以上
地図上の色分け	✂	★	◆	▲	■	●	◆	■	▼

No.2-9

【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (雨水ポンプ施設)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

市町村名	施設名	改築までの改修経費		年間運転経費	
泉佐野市	中央ポンプ場	3,371,298千円	電気、ポンプ、水処理設備(R5～R7)	130,420千円	直接経費：3,279千円 技術経費：8,202千円 間接業務費：19,277千円 諸経費：17,626千円 人件費：82,034千円
	北ポンプ場	未定	—	33,873千円	直接経費：851千円 技術経費：2,128千円 間接業務費：5,003千円 諸経費：4,595千円 人件費：21,293千円
泉南市	大里川ポンプ場	—	機械・電気設備等の更新を予定	67,826千円	2施設に係るポンプ場運転管理業務委託料を計上
	中部ポンプ場	—			

No.2-10

【施設・インフラ】公共施設の基本情報 (下水道整備状況)

出典：各市町公共施設等総合管理計画、各市町からの報告

推計結果の概要

—

	公共下水道処理人口	合併浄化槽処理人口	公共下水道普及率	基準日
泉佐野市	44,769人	33,554人	45.20%	R6.3
泉南市	36,732人	14,339人	62.76%	R6.3
阪南市	27,845人	10,933人	55.20%	R6.3
熊取町	36,167人	3,359人	84.60%	R6.3

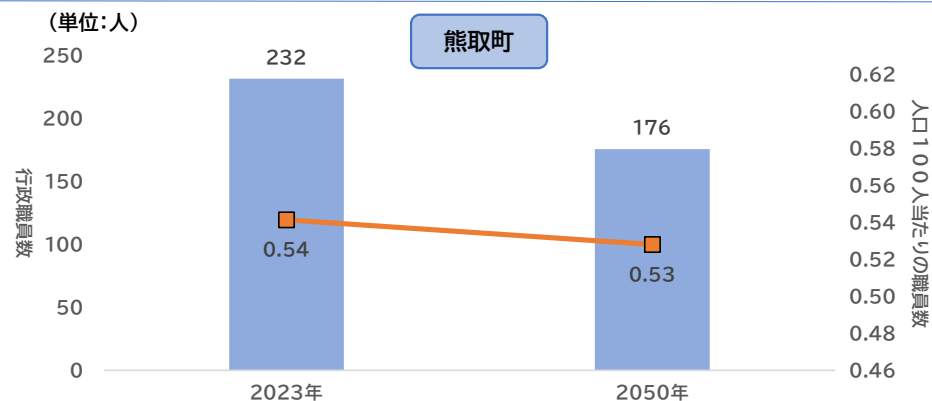
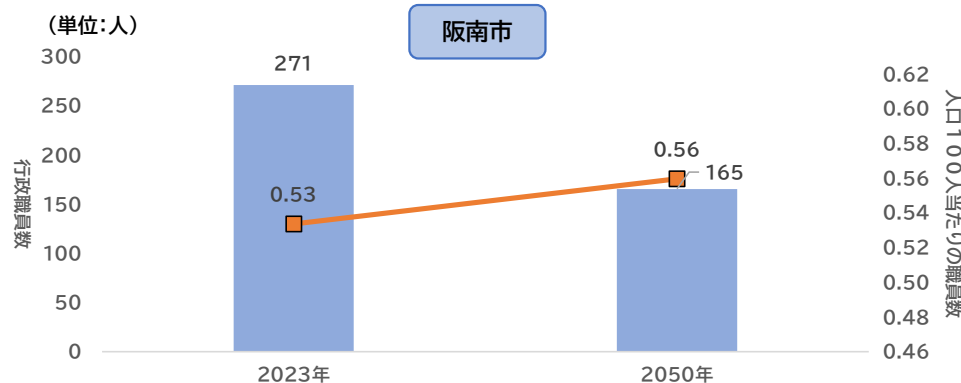
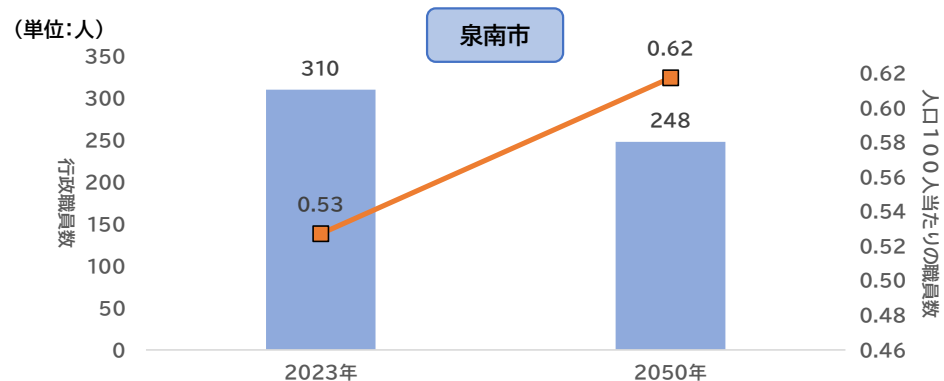
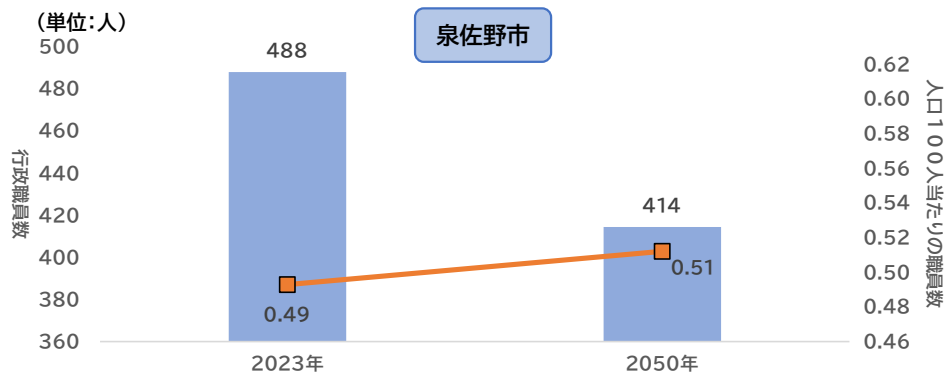
No.3-1

【行政】行政職員数比較（各市町） パターン①

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」、総務省「令和5年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2023年と2050年の行政職員数を比較する（一般行政部門）。なお、2050年の職員数については、2023年時点で、2050年の人口推計及び人口密度に近い人口数と人口密度を有する他団体の職員人口割合の平均値を使用し算出する。



※職員数については、総務省「令和5年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

行政職員数 人口100人当たりの職員数

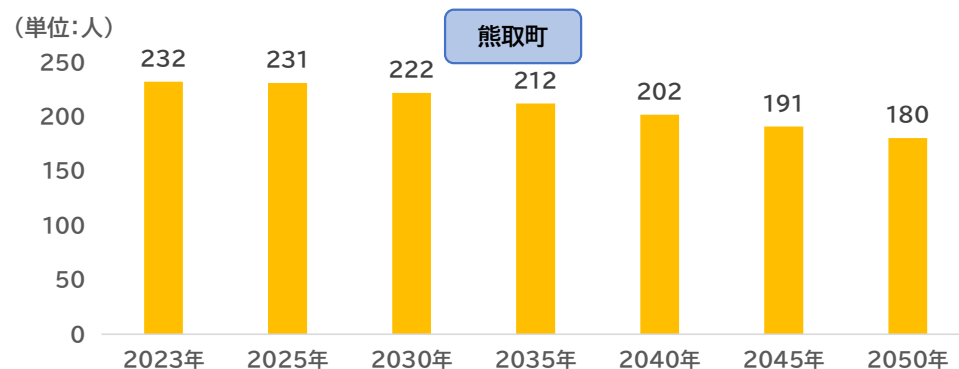
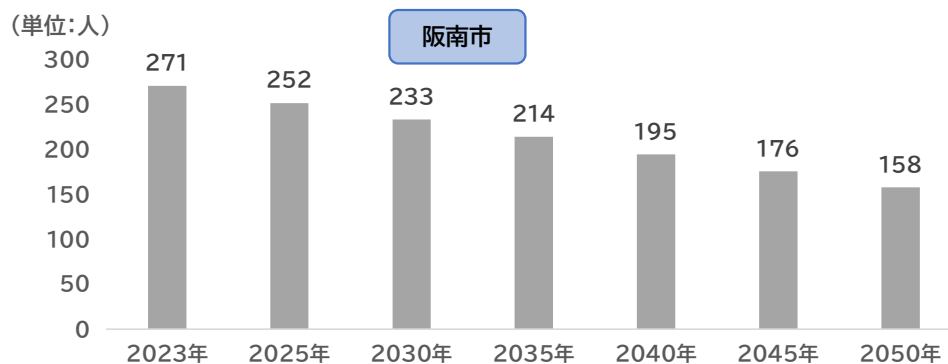
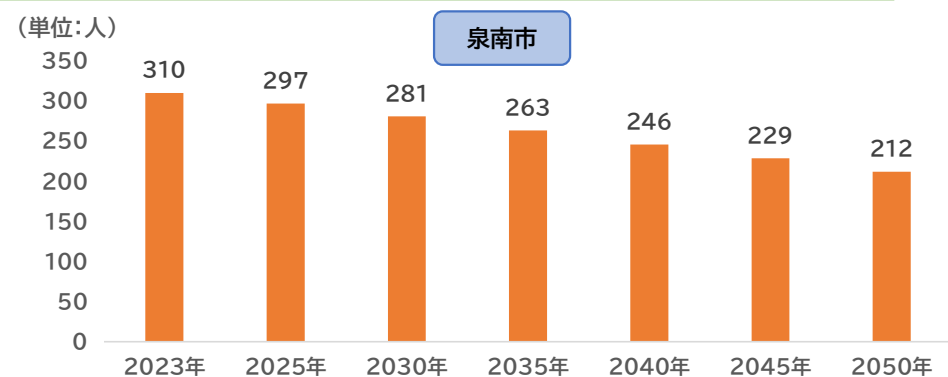
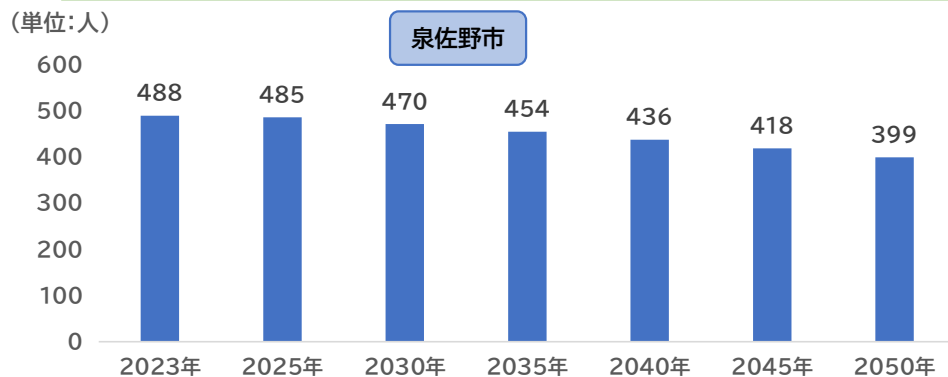
No.3-1

【行政】将来推計職員数（各市町） パターン②

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」、総務省「令和5年度地方公共団体定員管理調査」を基に作成

2023年から2050年の将来推計職員数を記載する(一般行政部門)。なお、2050年の職員数については、2023年時点の人口に対する職員数の割合を、2050年の人口推計に掛け合わせて算出する。



※職員数については、総務省「令和5年度地方公共団体定員管理調査」の「調査対象職員」を対象とする。

No.3-2

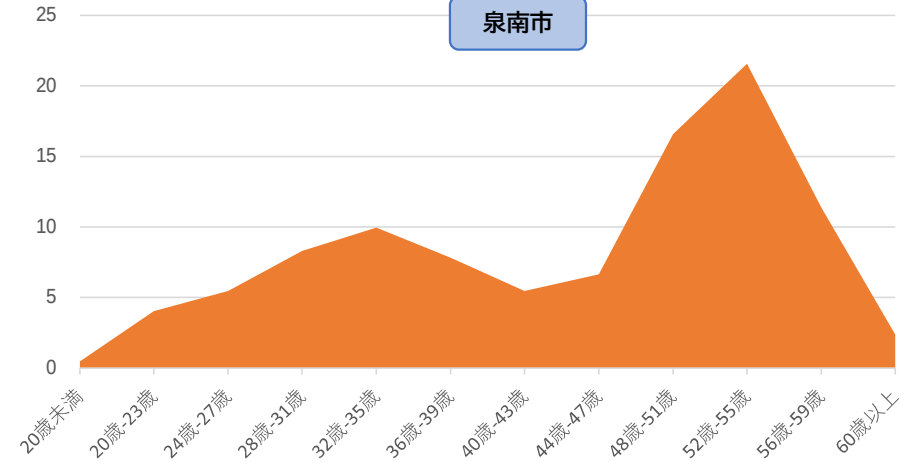
【行政】職員の年齢構成割合(各市町)

出典:各市町給与・定員管理等の公表資料

泉佐野市



泉南市



阪南市



熊取町



No.4-1

【医療・福祉】医療・介護需要

出典：総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成

指数計算式：日本医師会「地域医療情報システム」記載の式を利用

本項目では医療介護需要の予測について掲載しています。

医療介護需要の指数は2020年の国勢調査に基づく需要量=100として指数化しているもので、日本医師会が提示している計算式と各年齢層の人口数を用いて算出しています。

算出方法は以下の通りです。

- ・各年の医療需要量 = $\sim 14\text{歳} \times 0.6 + 15 \sim 39\text{歳} \times 0.4 + 40 \sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65 \sim 74\text{歳} \times 2.3 + 75\text{歳} \sim \times 3.9$
- ・各年の介護需要量 = $40 \sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65 \sim 74\text{歳} \times 9.7 + 75\text{歳} \sim \times 87.3$

No.4-1

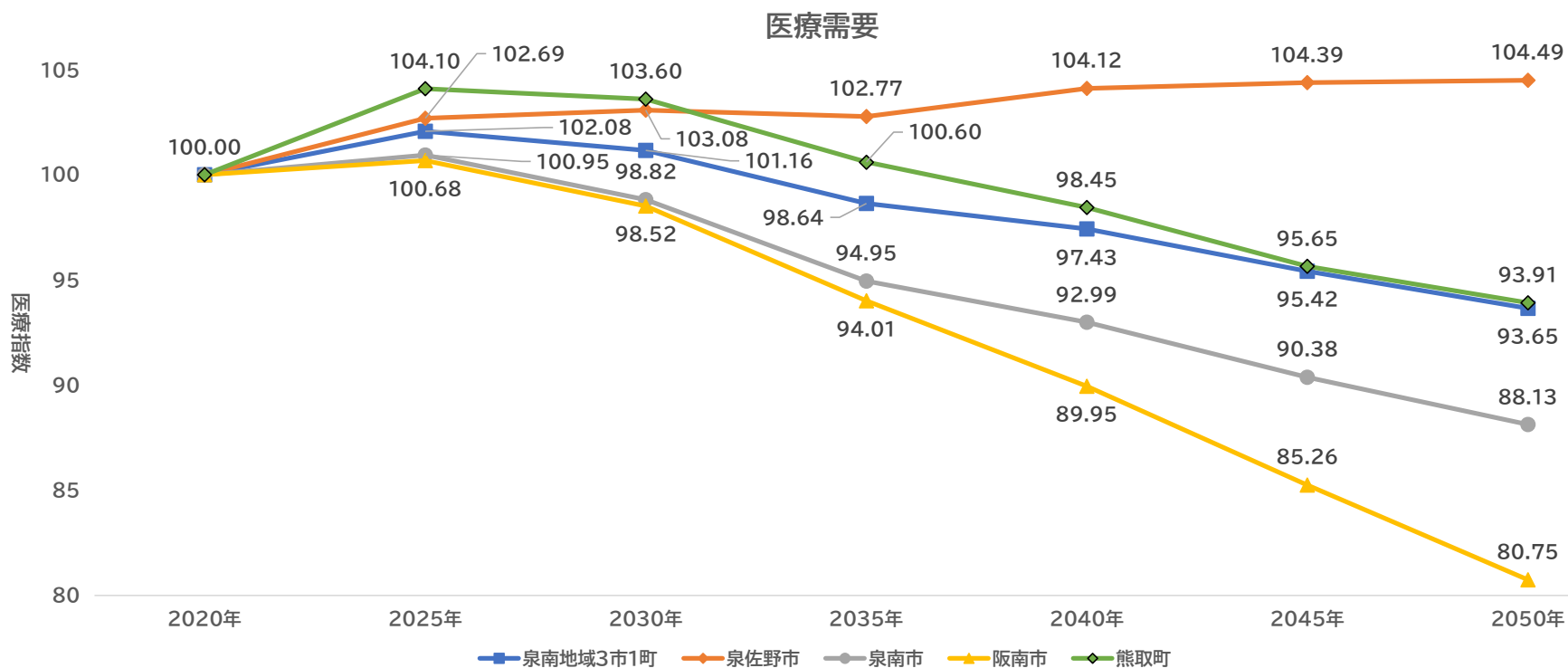
【医療・福祉】医療・介護需要

出典：総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成

指数計算式：日本医師会「地域医療情報システム」記載の式を利用

推計結果の概要

医療需要は高齢者人口の増加により2025年まで拡大。泉佐野市を除く2市1町では、人口減少により2025年以降の医療需要は減少する。



No.4-1

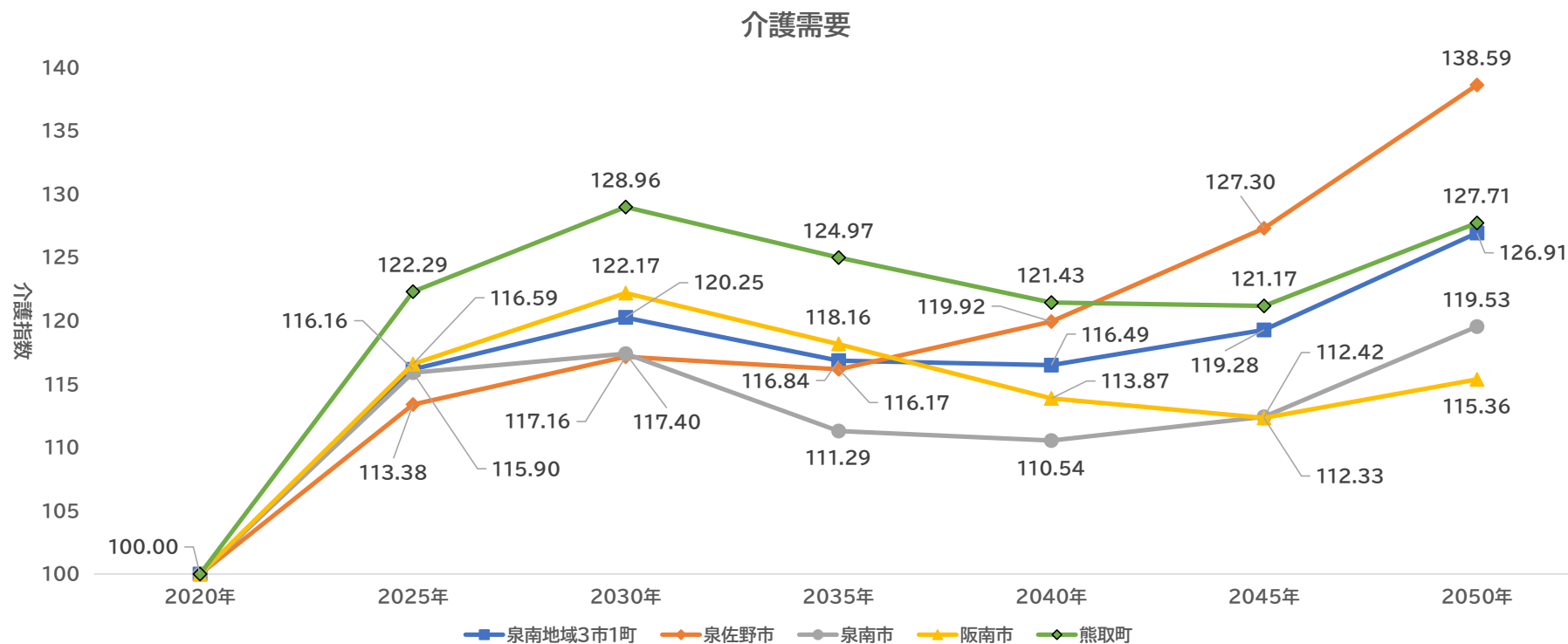
【医療・福祉】医療・介護需要

出典：総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成

指数計算式：日本医師会「地域医療情報システム」記載の式を利用

推計結果の概要

介護需要は高齢者人口の増加により2050年まで拡大。人口減少により推計期間半ば（2035～2045年）の介護需要は減少するが、高齢化率が上昇していくため、緩慢な減少に留まる。



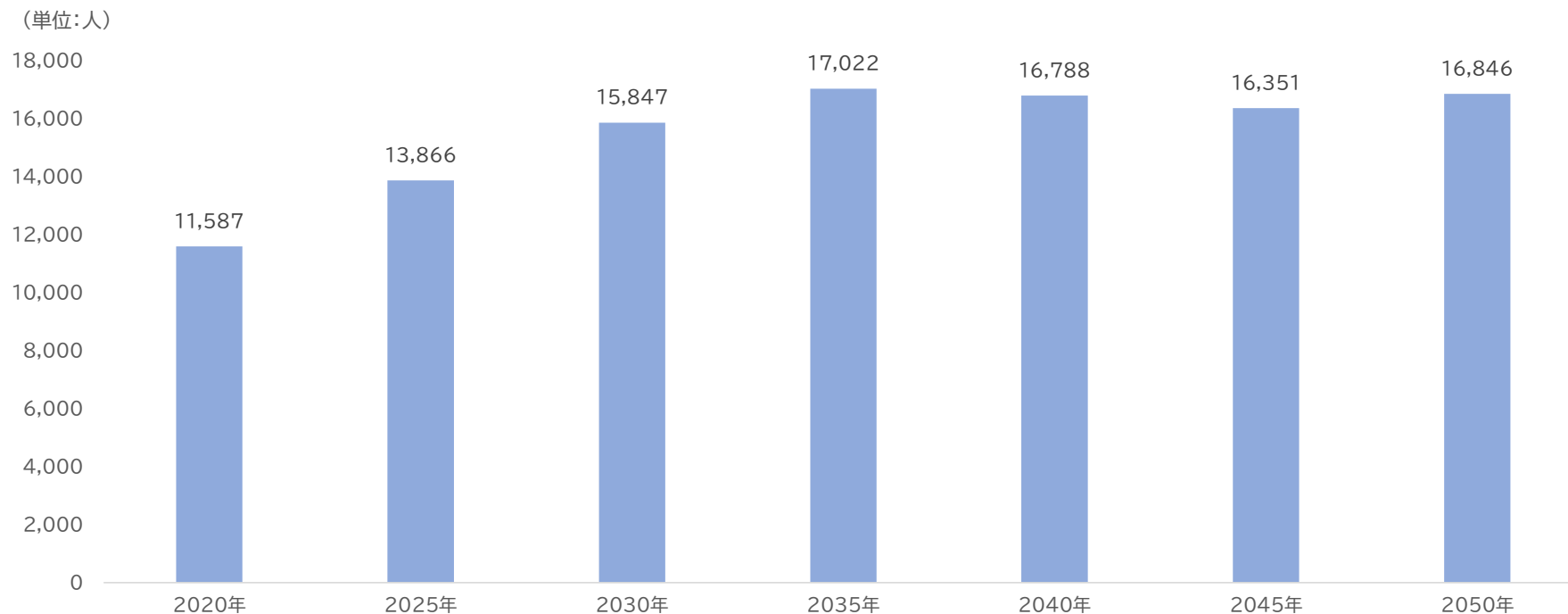
No.4-2

【医療・福祉】認知症有病者数(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成

推計結果の概要

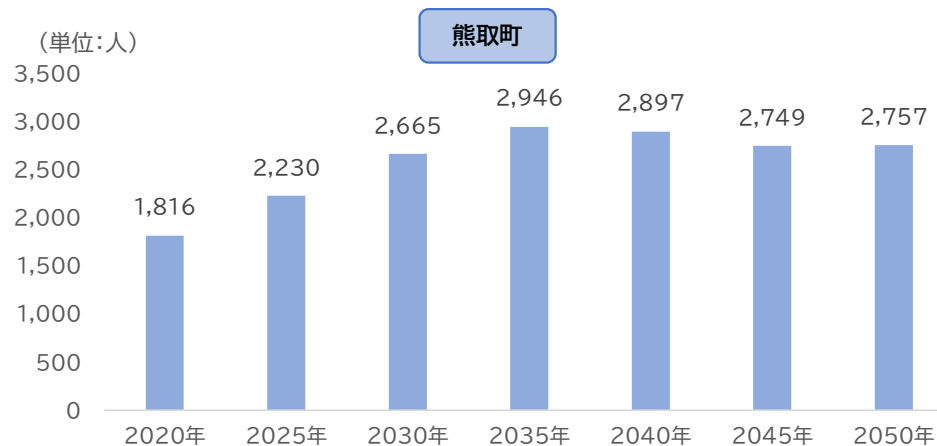
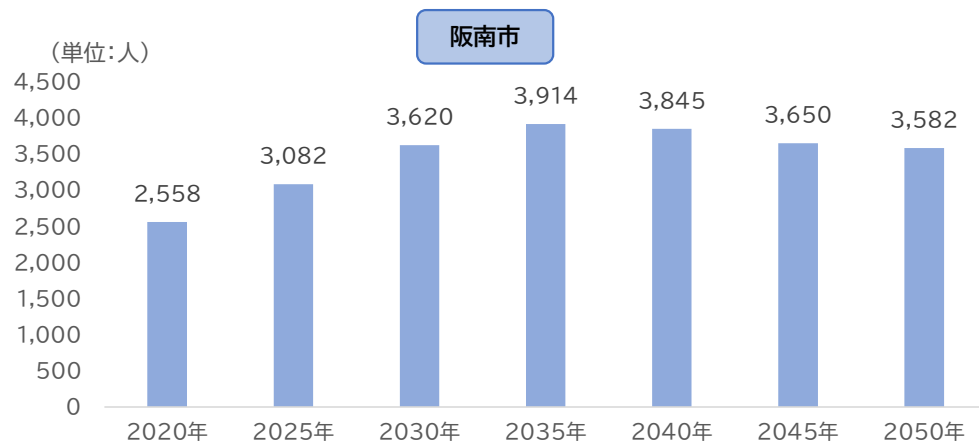
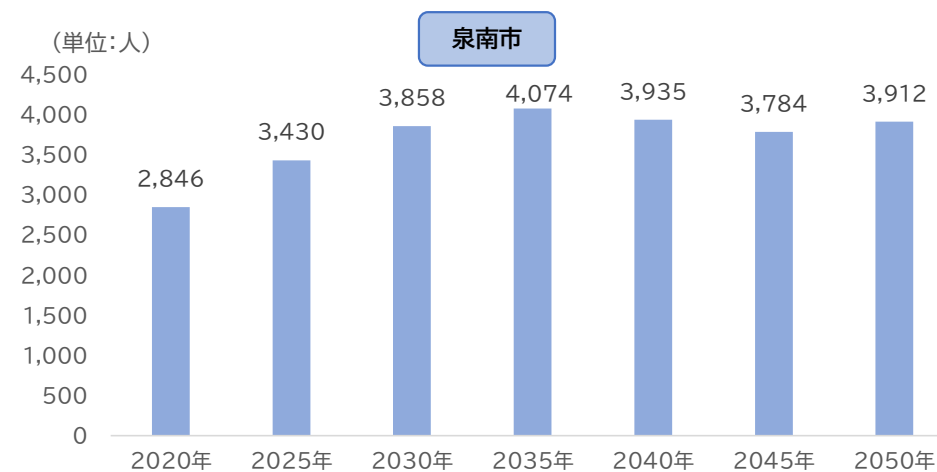
認知症有病者数は、2035年頃まで増加し、その後高止まりとなる。



No.4-2

【医療・福祉】認知症有病者数(各市町)

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」，
厚生労働省「認知症の人の将来推計について」を基に作成



No.5-1

【防災・消防】避難行動要支援者数(泉南地域3市1町)

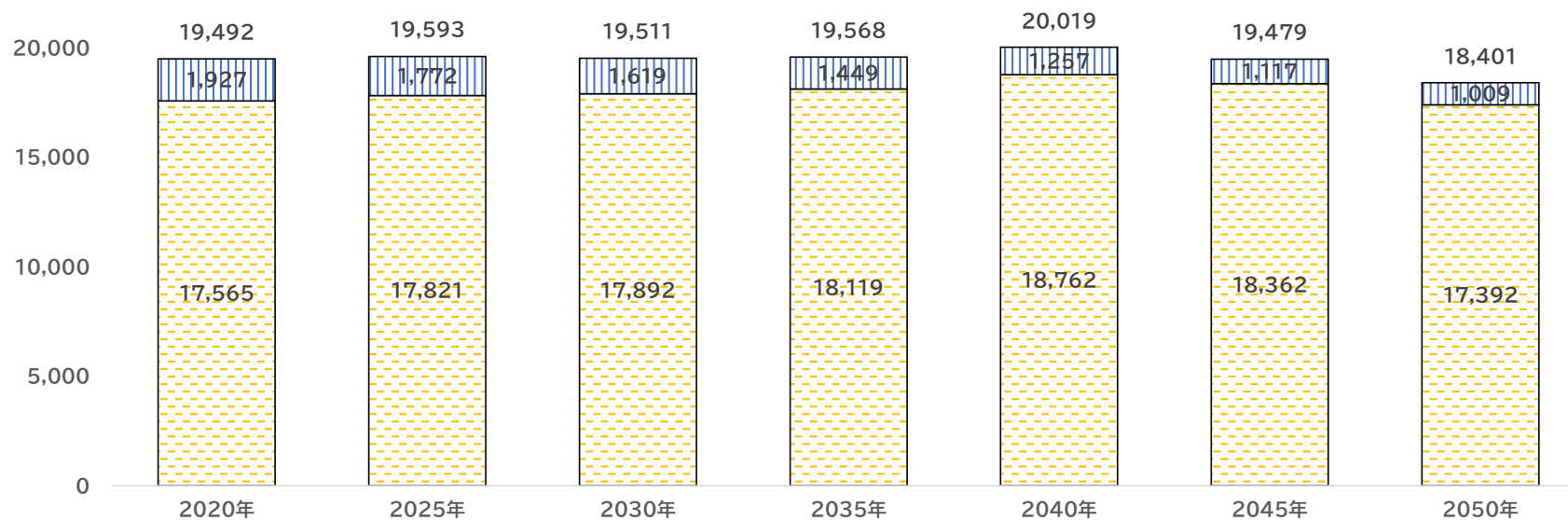
出典:総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

避難行動要支援者数は、2040年をピークに、減少に転じる。

(単位:人)

25,000



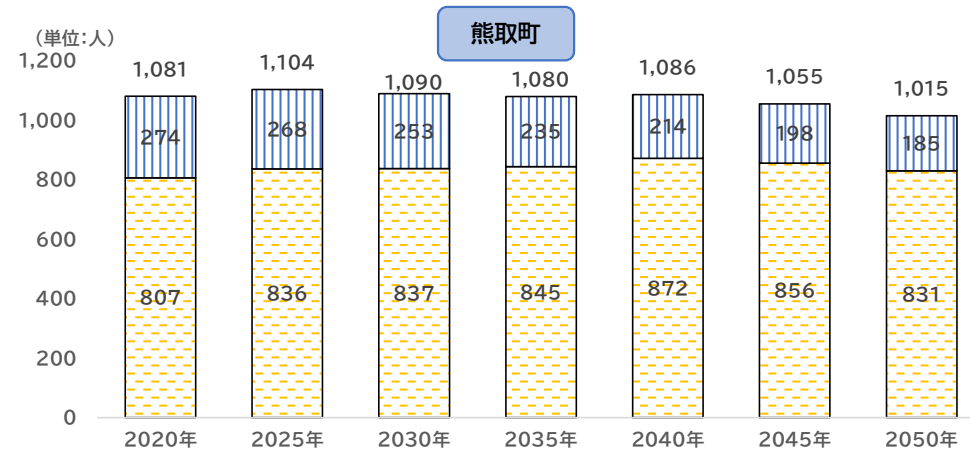
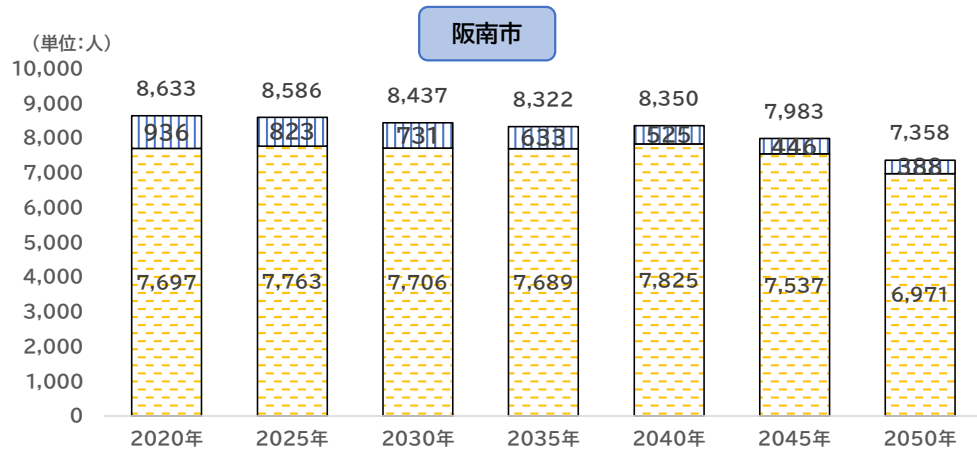
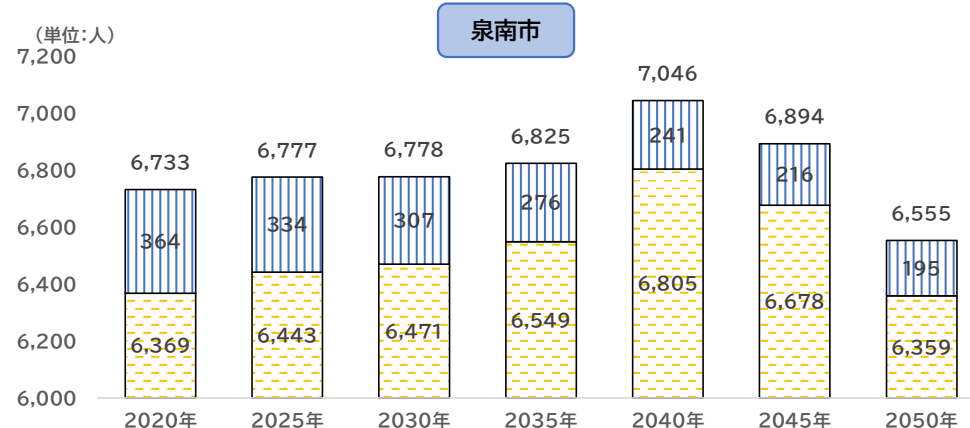
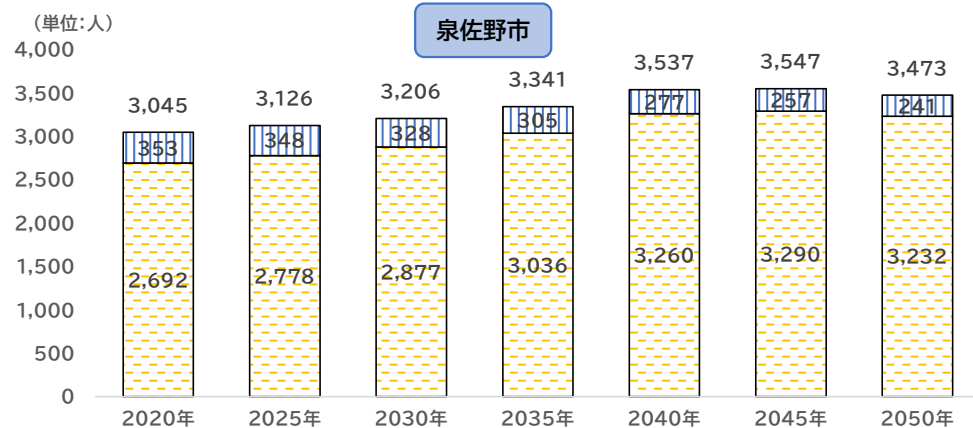
□避難行動要支援者数(65歳以上) □避難行動要支援者数(65歳未満)

※避難行動要支援者数については、各市町で定義が異なる。
※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

No.5-1

【防災・消防】避難行動要支援者数(各市町)

出典:総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成



※避難行動要支援者数については、各市町で定義が異なる。

※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

□避難行動要支援者数(65歳以上) □避難行動要支援者数(65歳未満)

No.5-2

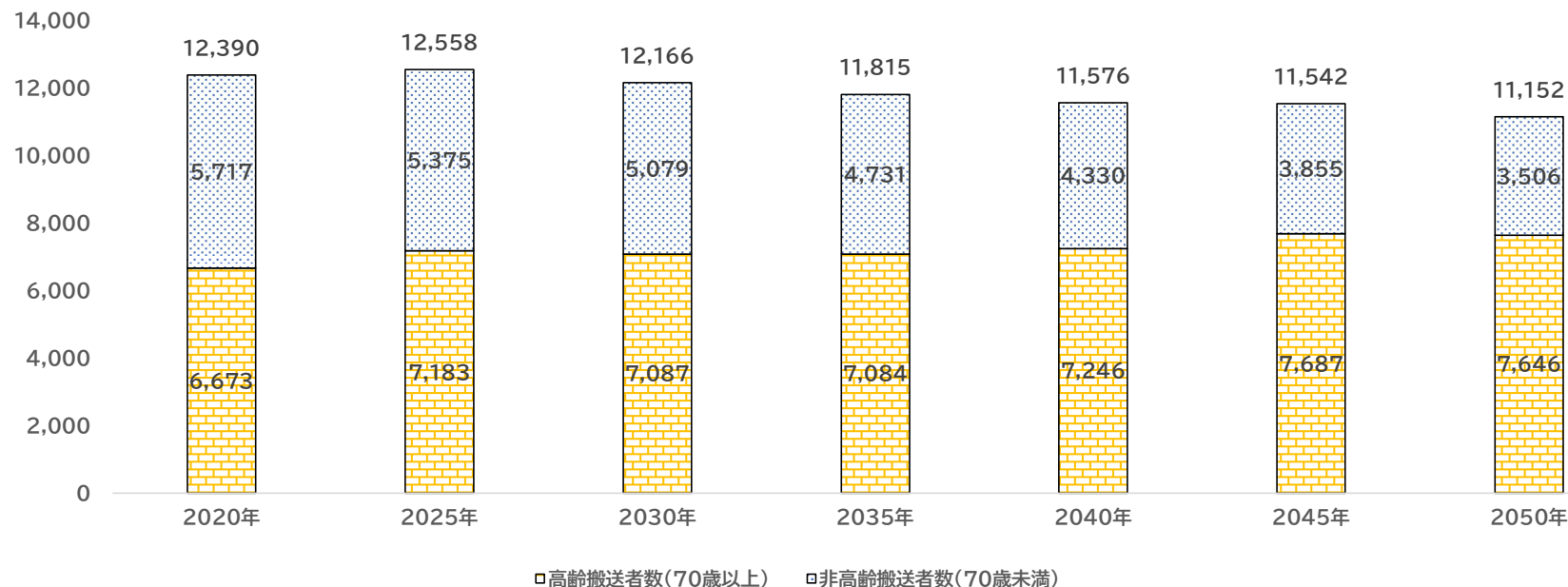
【防災・消防】救急搬送人員数(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

救急搬送人員数は、2025年をピークに、緩やかな減少に転じるが、高齢化率の上昇により、緩やかな減少に留まる。

(単位:人)

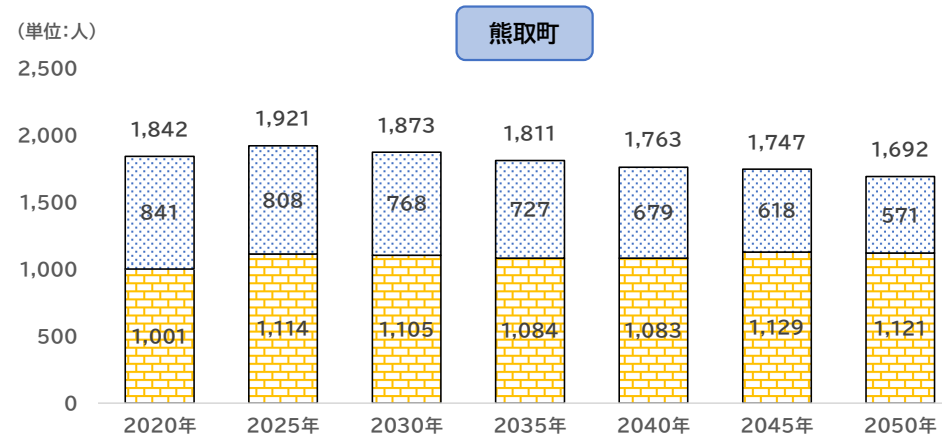
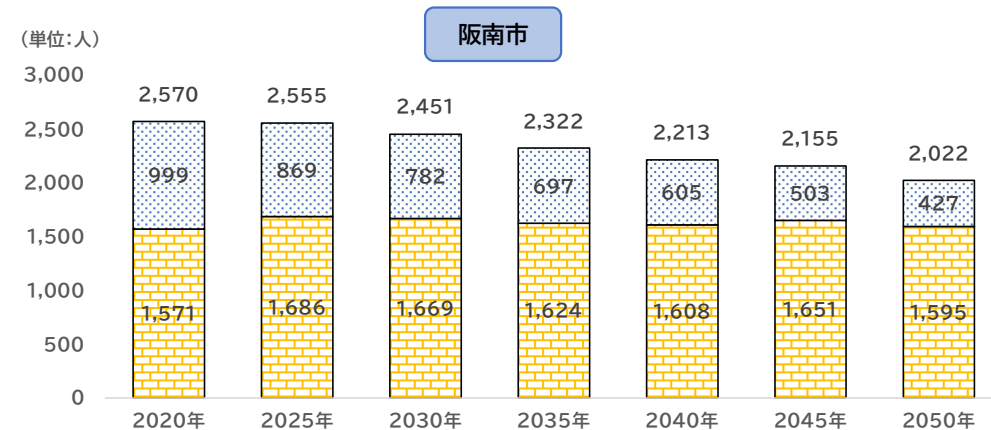
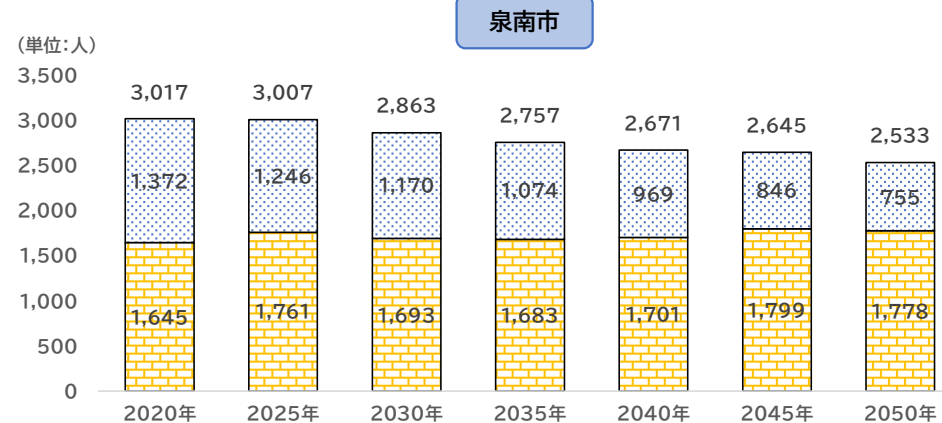
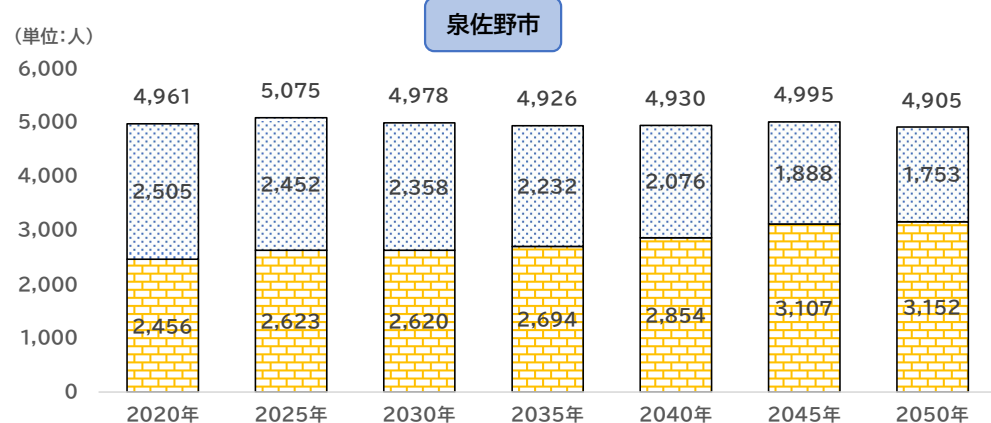


※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

No.5-2

【防災・消防】救急搬送人員数(各市町)

出典：総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

■高齢搬送者数(70歳以上) ■非高齢搬送者数(70歳未満)

No.6-1

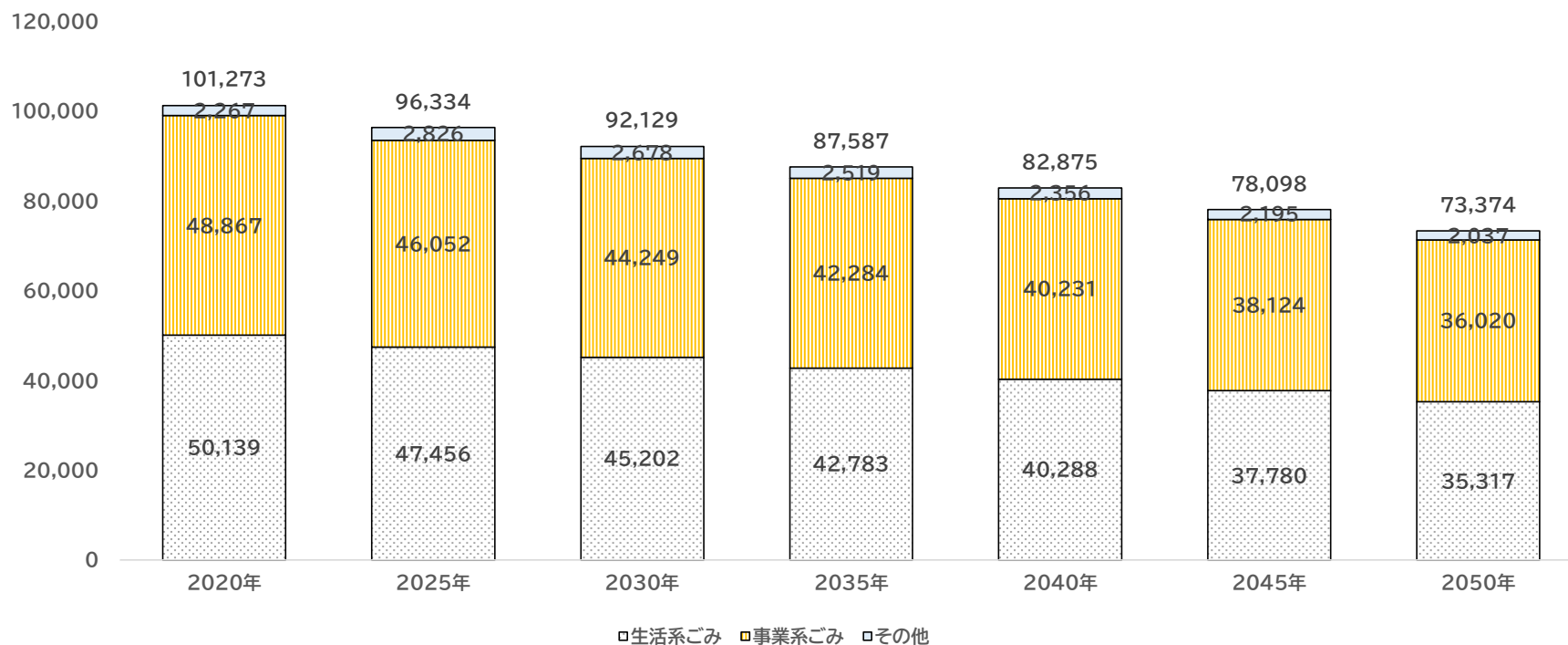
【衛生】ごみ発生量(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて27,899トン(約27.6%)減少する見込み。

(単位:トン)

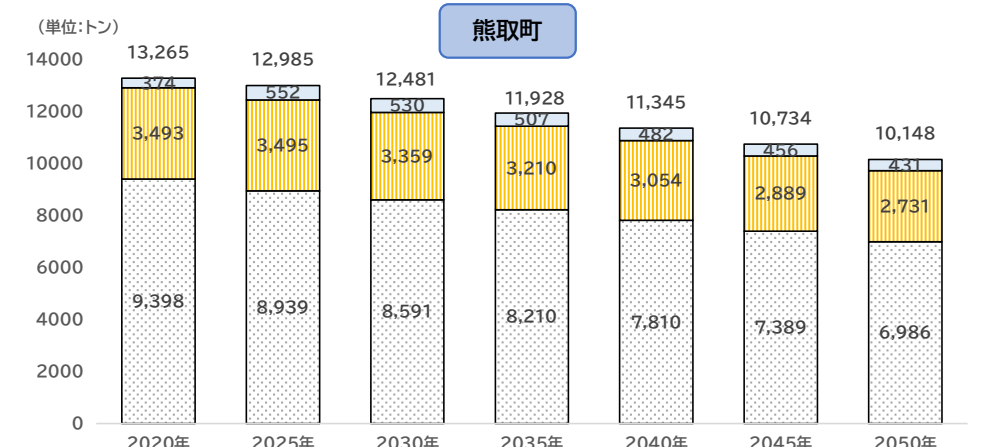
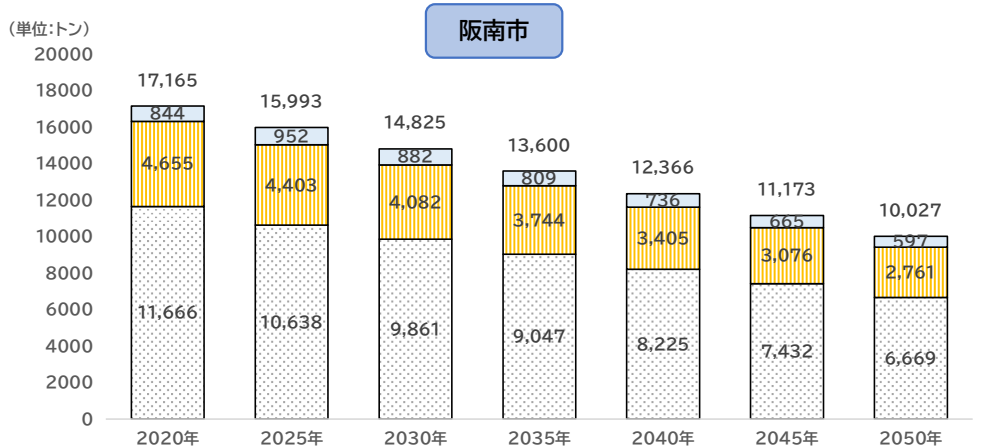
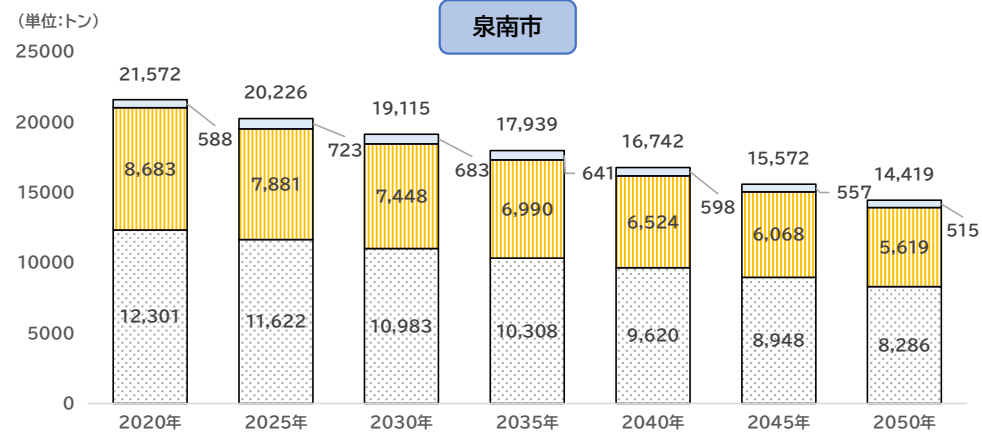
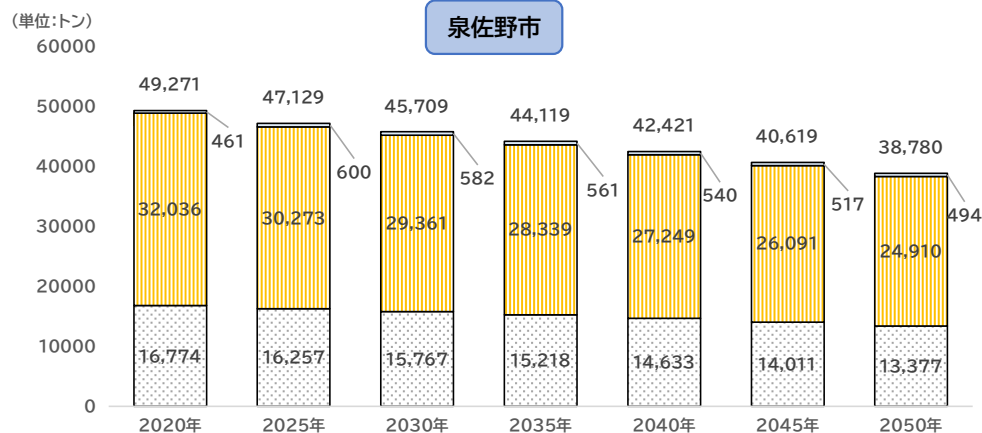


※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

No.6-1

【衛生】ごみ発生量(各市町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
環境省「ごみ処理の概要」を基に作成



※端数処理により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

□生活系ごみ □事業系ごみ □その他 50

No.6-2

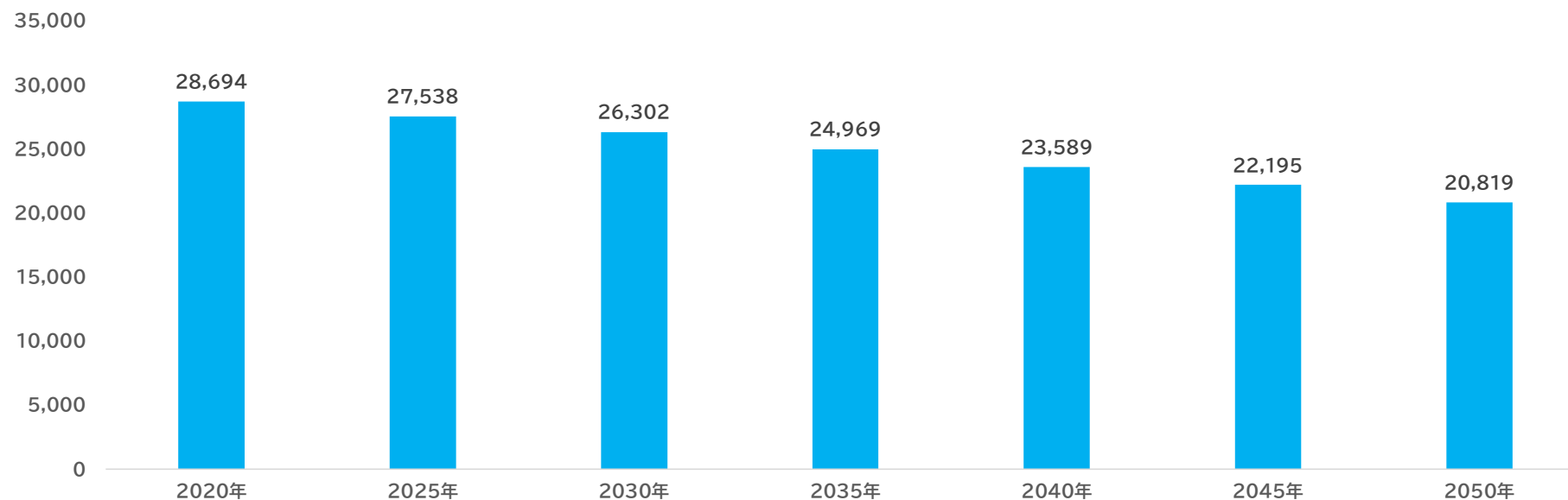
【衛生】有収水量(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成

推計結果の概要

人口減少等により、2050年にかけて7,875千 m^3 (約27.5%)減少する見込み。

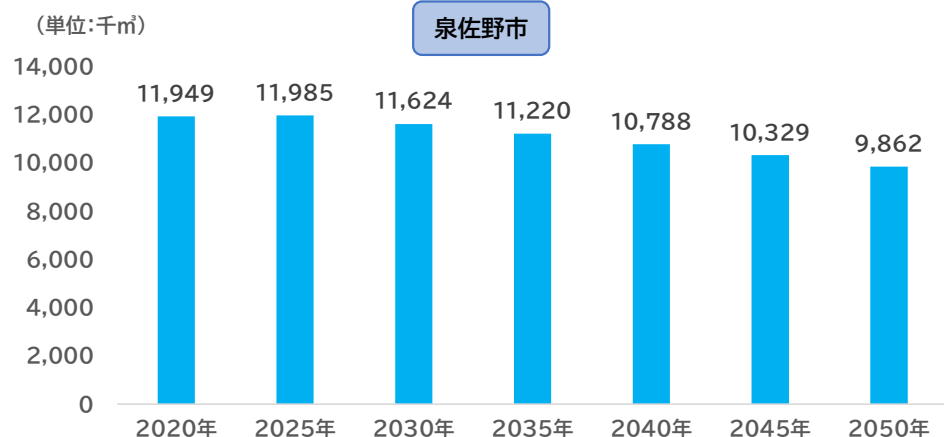
(単位:千 m^3)



No.6-2

【衛生】有収水量(各市町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」,
大阪府「大阪府の水道の現況」を基に作成



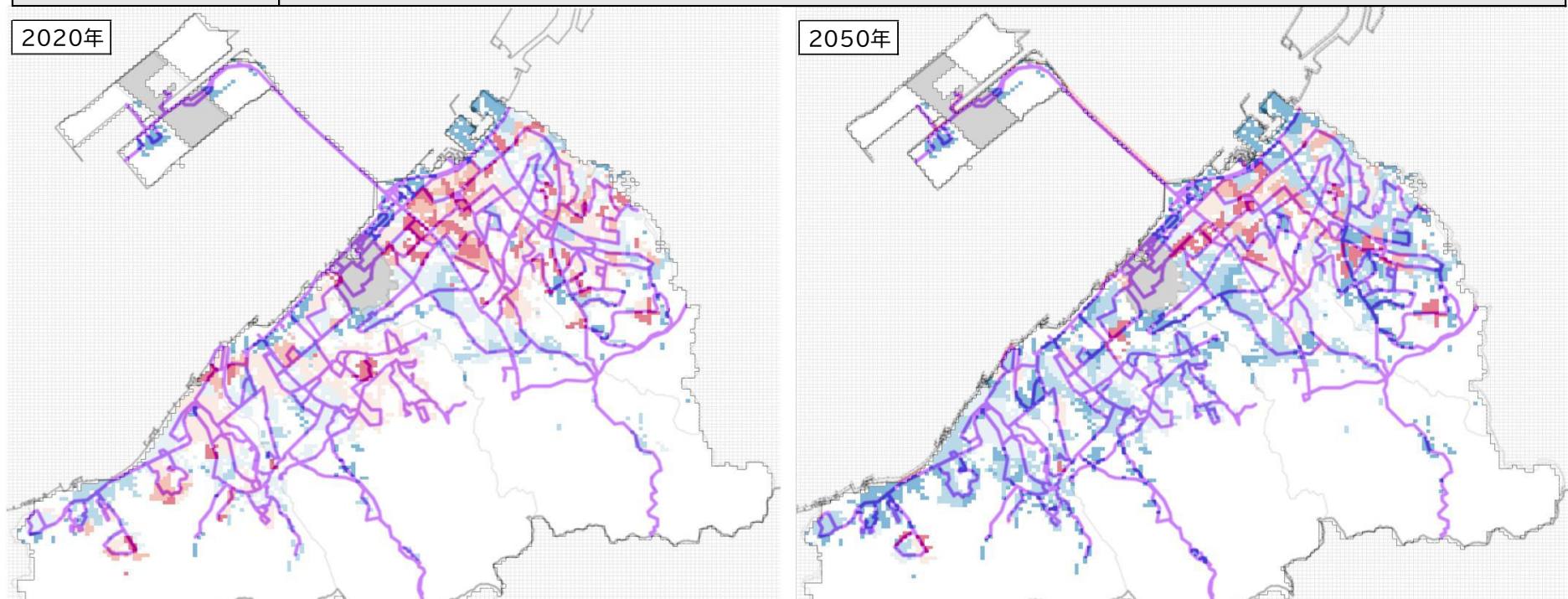
No.7-1

【公共交通】路線バス周辺の人口密度(泉南地域3市1町)

出典:総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を基に作成

推計結果の概要

路線沿線の人口減少等により、路線バスの減便・再編・廃止が生じる可能性が高くなる。



紫色の線はバス路線を示しています。

その周辺の人口密度を赤青色のメッシュで表示(青色が濃いほど人口密度が低く、赤色が濃いほど人口密度が高い)しています。

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V3(R2 国調対応版)」を使用

No.8-1

【転出入】自治体間の人口移動(2023年)(泉佐野市)

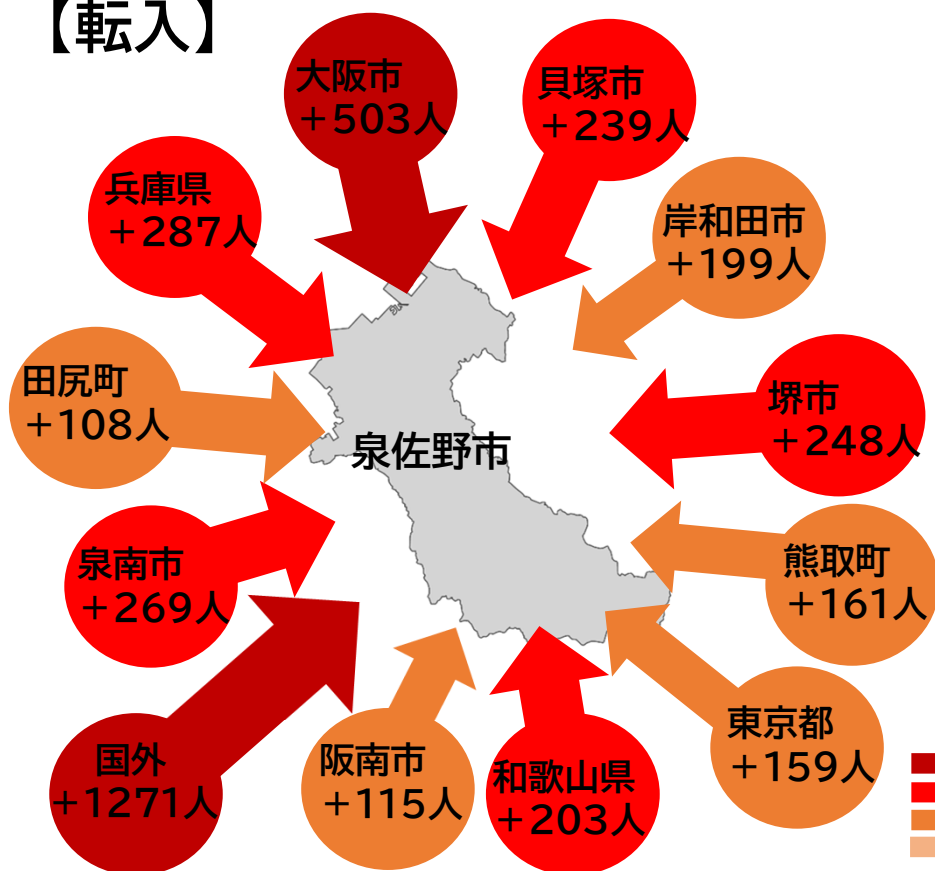
出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告(2023年)」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

概要

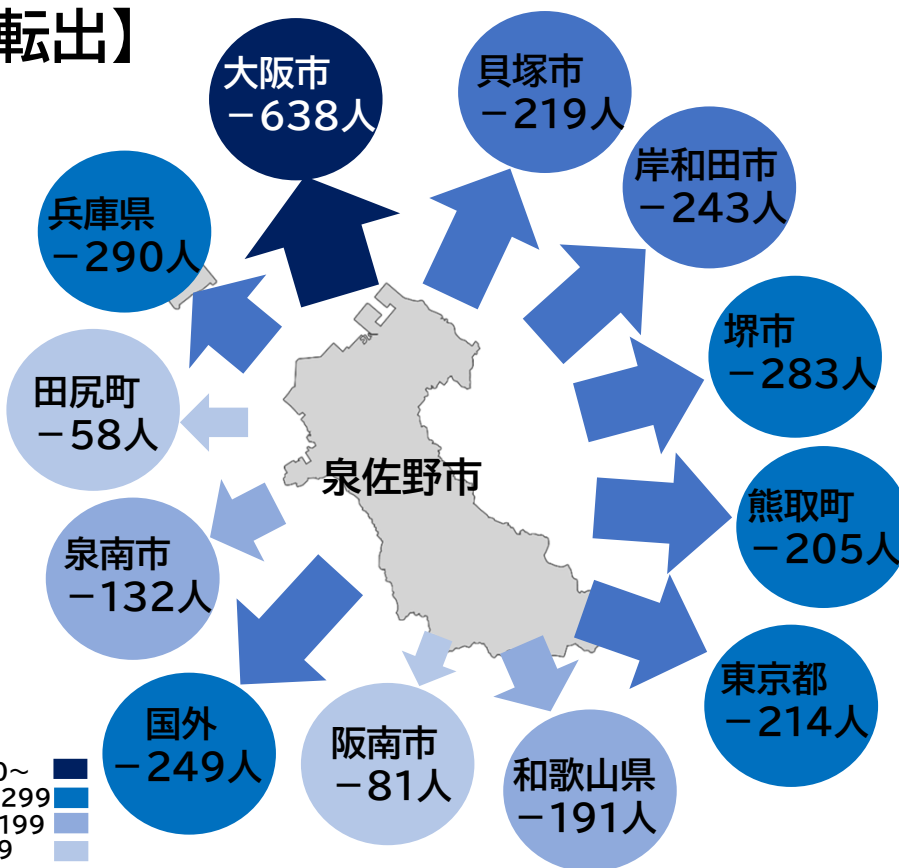
転出者は合計で4,683名に対し、転入者は合計で5,827名と1,144名の転入超過となっている。

※転出入者数については、「住民基本台帳人口移動報告」の移動者数に、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の国外からの転入者数及び国外への転出者数を加えて算出。

【転入】



【転出】



No.8-1

【転出入】自治体間の人口移動(2023年)(泉南市)

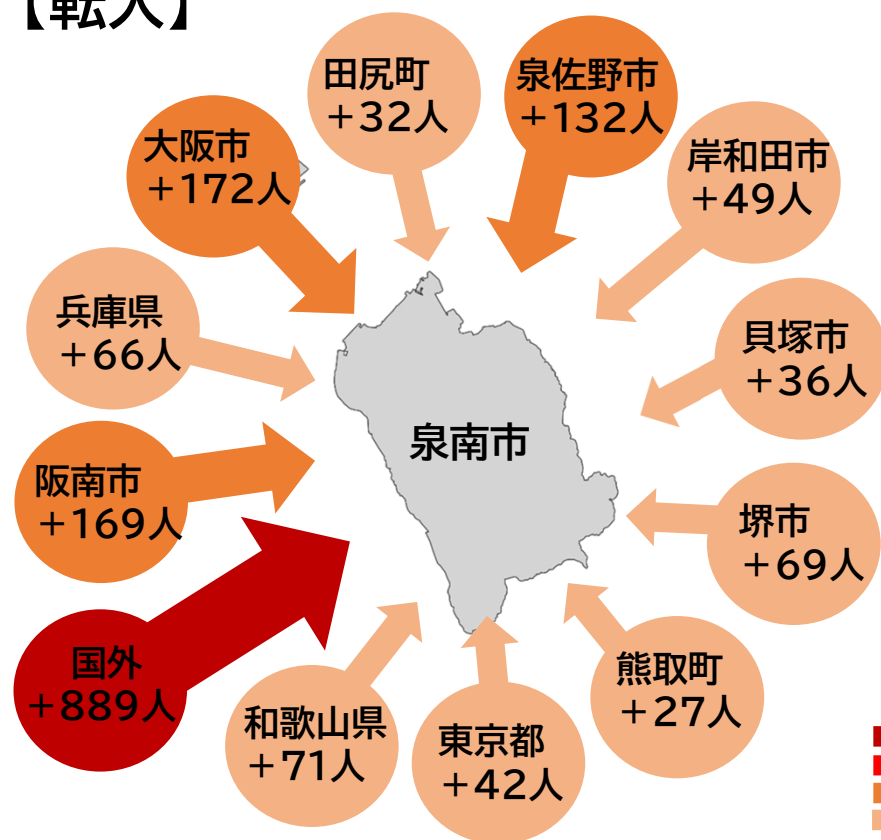
出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告(2023年)」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

概要

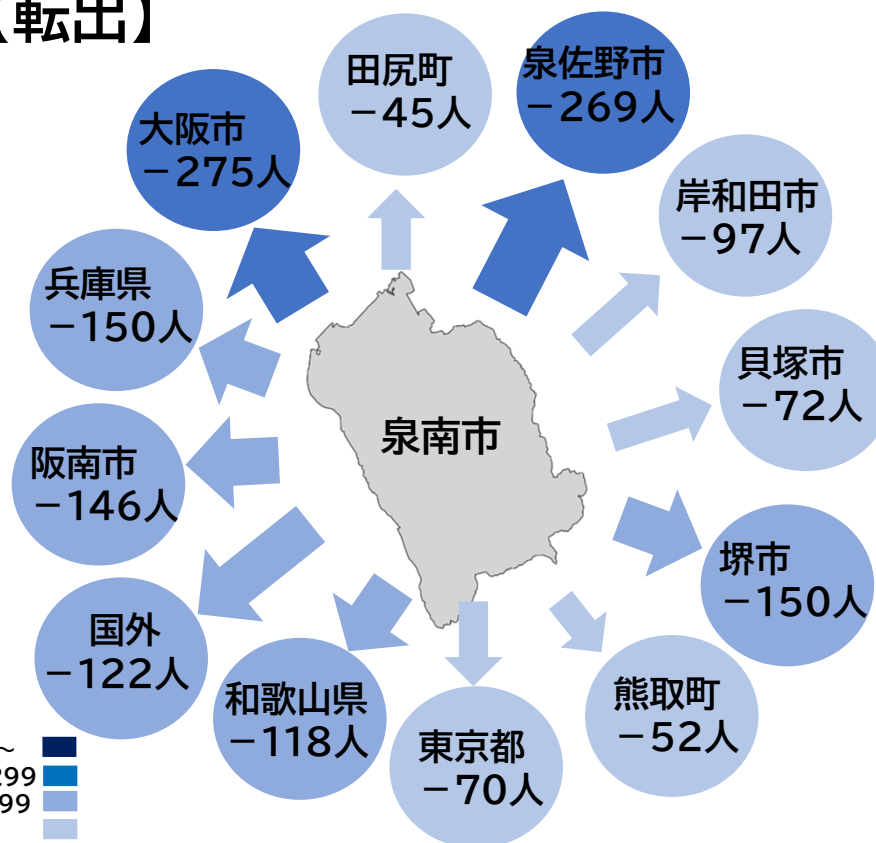
転出者は合計で2,777名に対し、転入者は合計で2,330名と447名の転出超過となっている。

※転出入者数については、「住民基本台帳人口移動報告」の移動者数に、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の国外からの転入者数及び国外への転出者数を加えて算出。

【転入】



【転出】



No.8-1

【転出入】自治体間の人口移動(2023年)(阪南市)

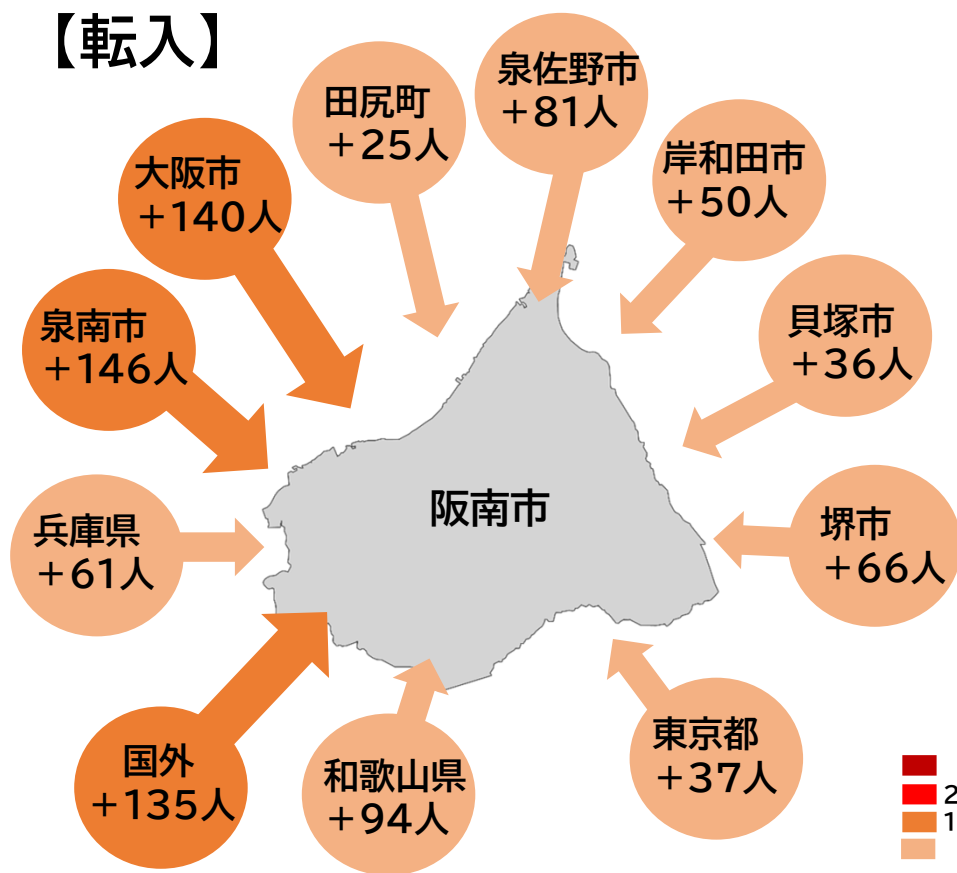
出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告(2023年)」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

概要

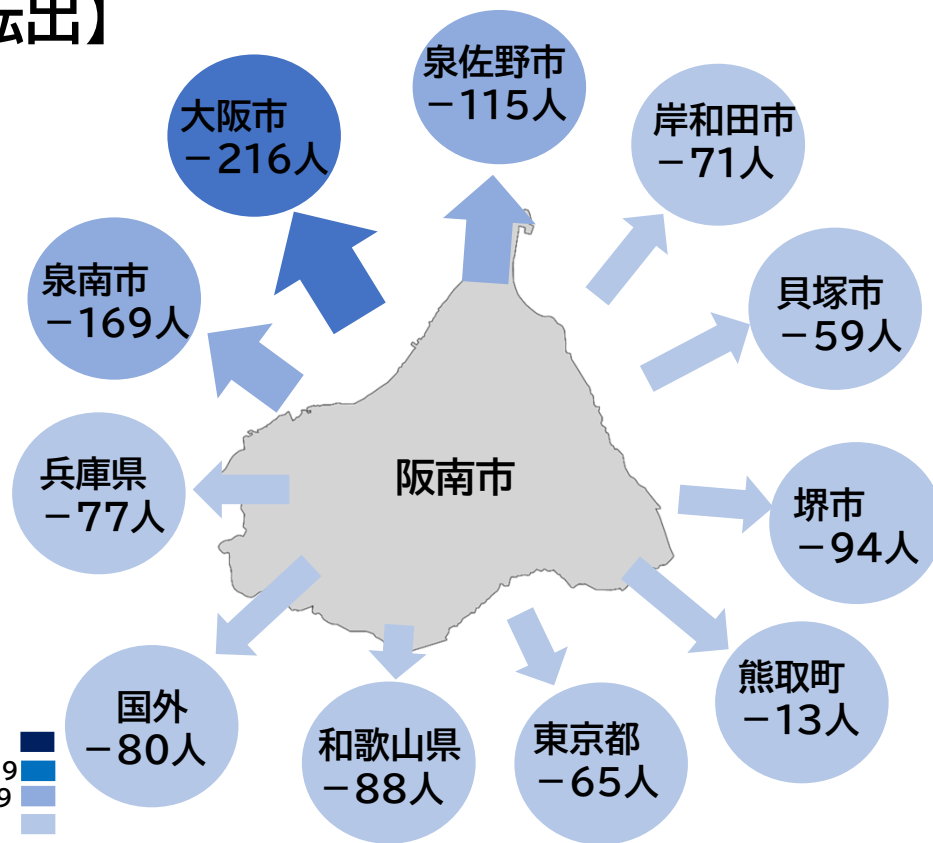
転出者は合計で1,622名に対し、転入者は合計で1,313名と309名の転出超過となっている。

※転出入者数については、「住民基本台帳人口移動報告」の移動者数に、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の国外からの転入者数及び国外への転出者数を加えて算出。

【転入】



【転出】



No.8-1

【転出入】自治体間の人口移動(2023年)(熊取町)

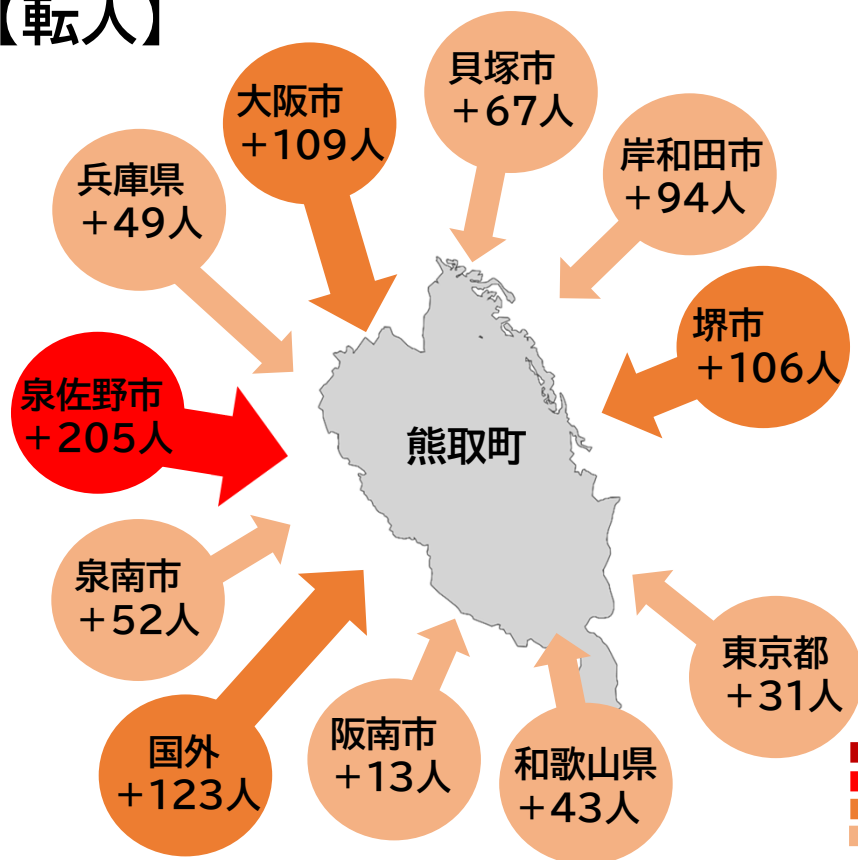
出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告(2023年)」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

概要

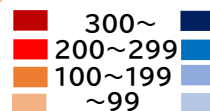
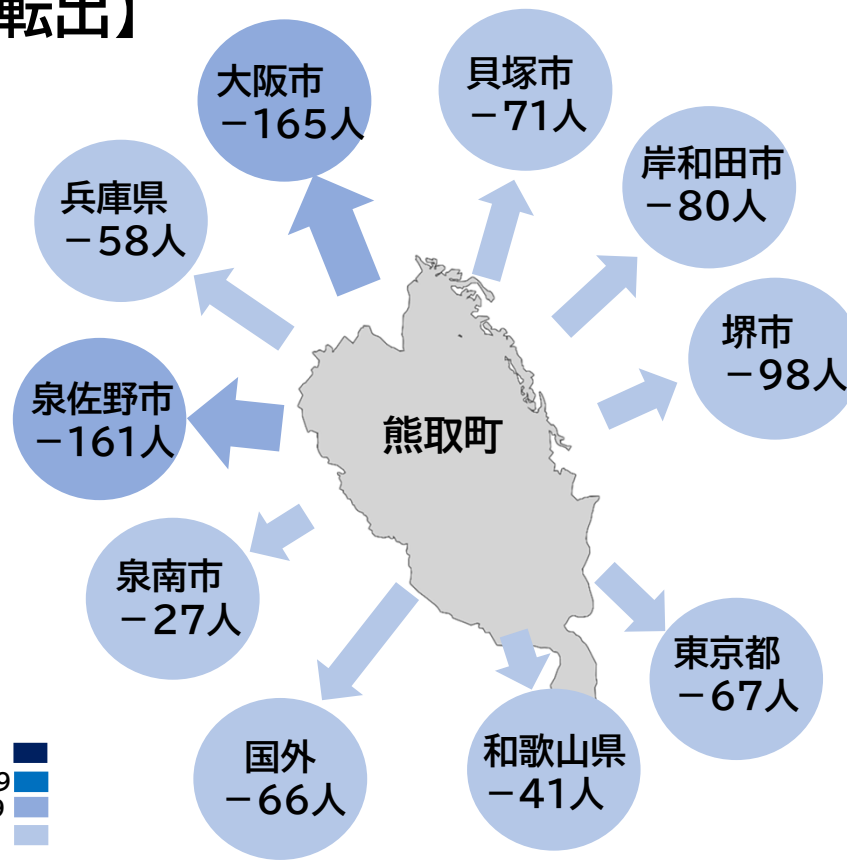
転出者は合計で1,259名に対し、転入者は合計で1,308名と49名の転入超過となっている。

※転入者数については、「住民基本台帳人口移動報告」の移動者数に、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の国外からの転入者数及び国外への転出者数を加えて算出。

【転入】



【転出】



No.8-2

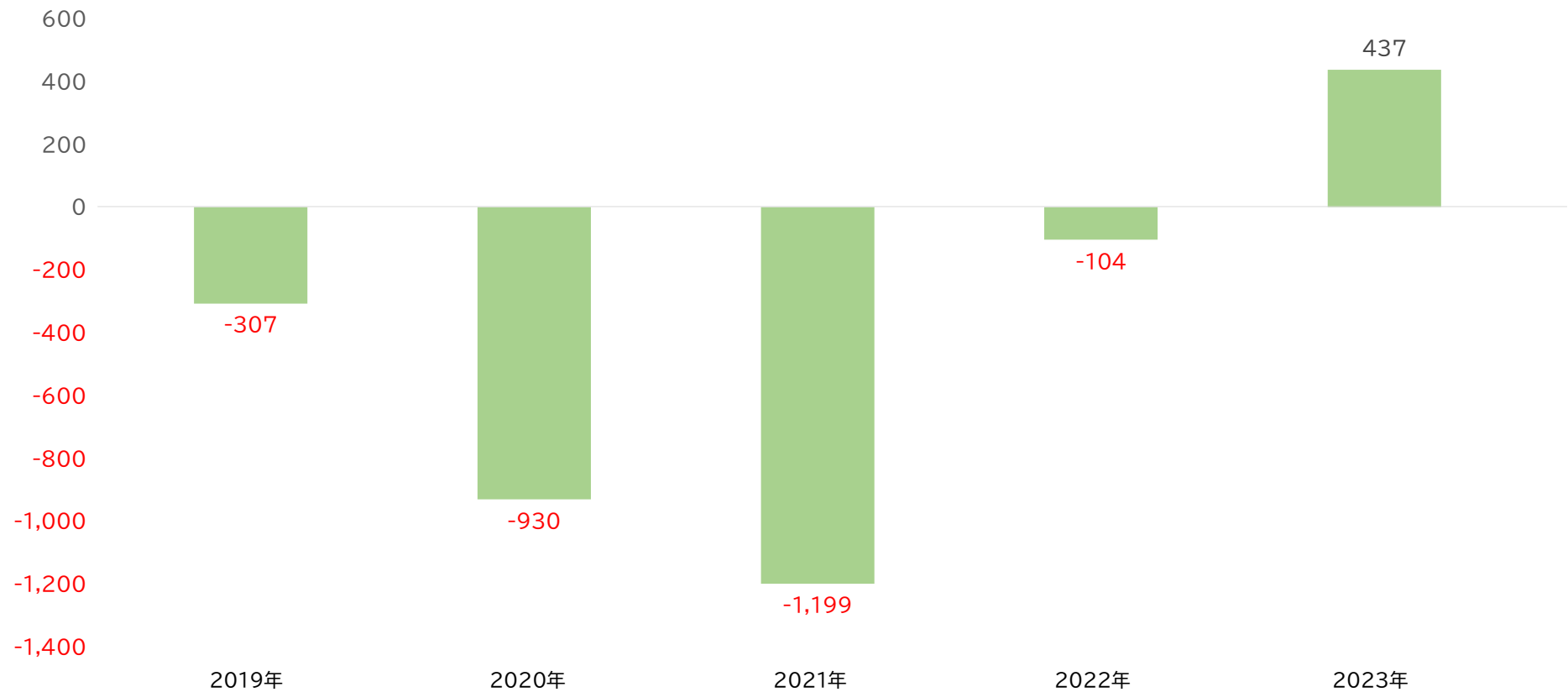
【転出入】過去5年間の転出入者数(泉南地域3市1町)

出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※転出入者数については、「住民基本台帳人口移動報告」の移動者数に、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の国外からの転入者数及び国外への転出者数を加えて算出。

概要

2023年から転入超過に転じ、437名の転入超過となっている。



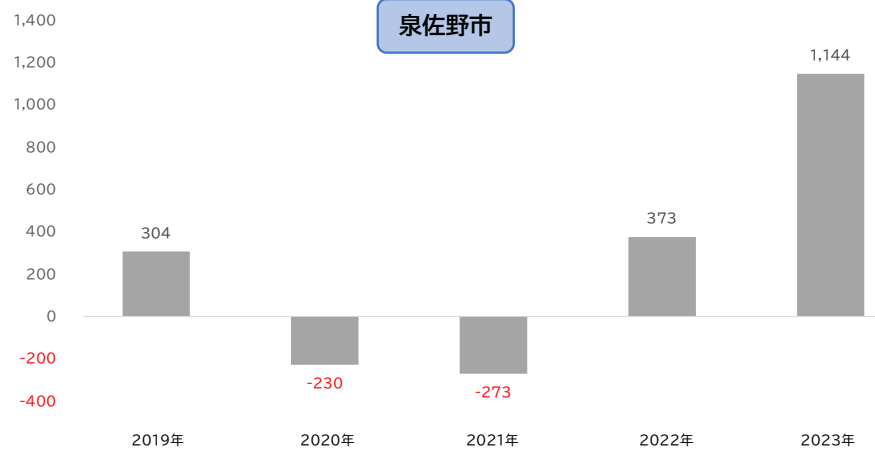
No.8-2

【転出入】過去5年間の転出入者数(各市町)

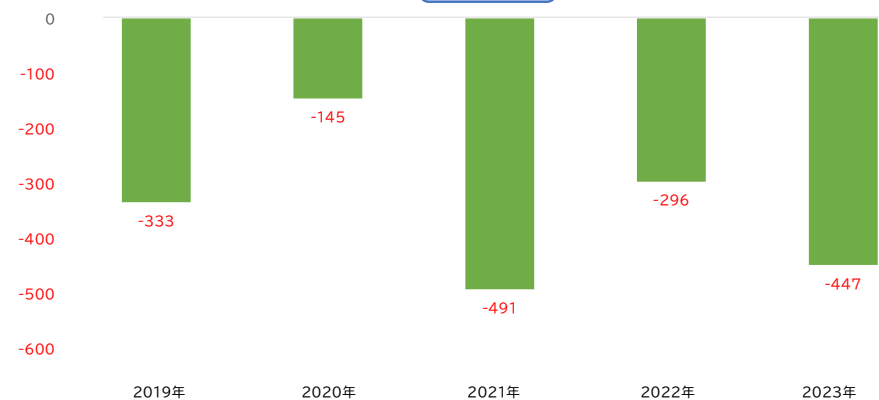
出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※転出入者数については、「住民基本台帳人口移動報告」の移動者数に、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の国外からの転入者数及び国外への転出者数を加えて算出。

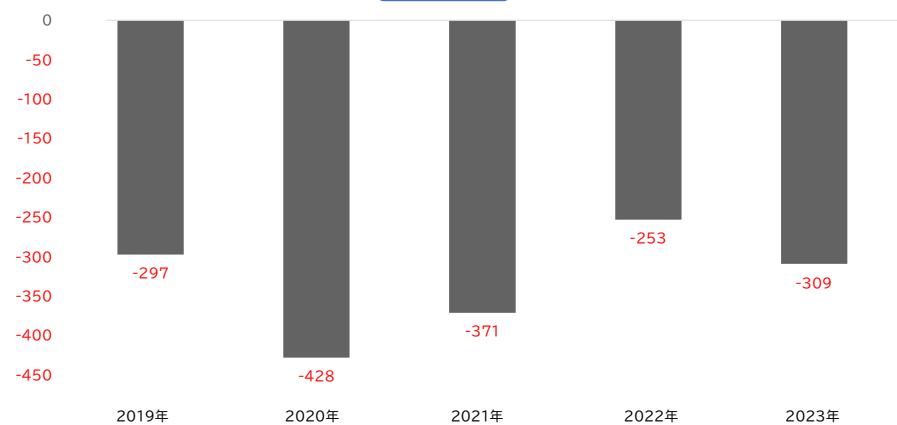
泉佐野市



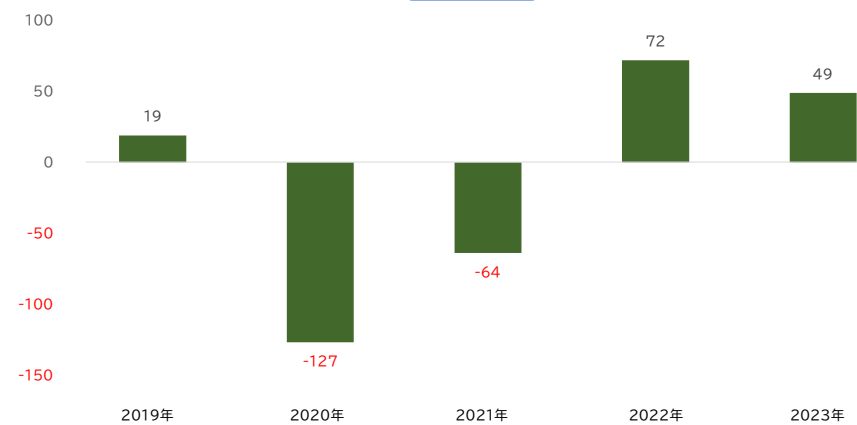
泉南市



阪南市



熊取町

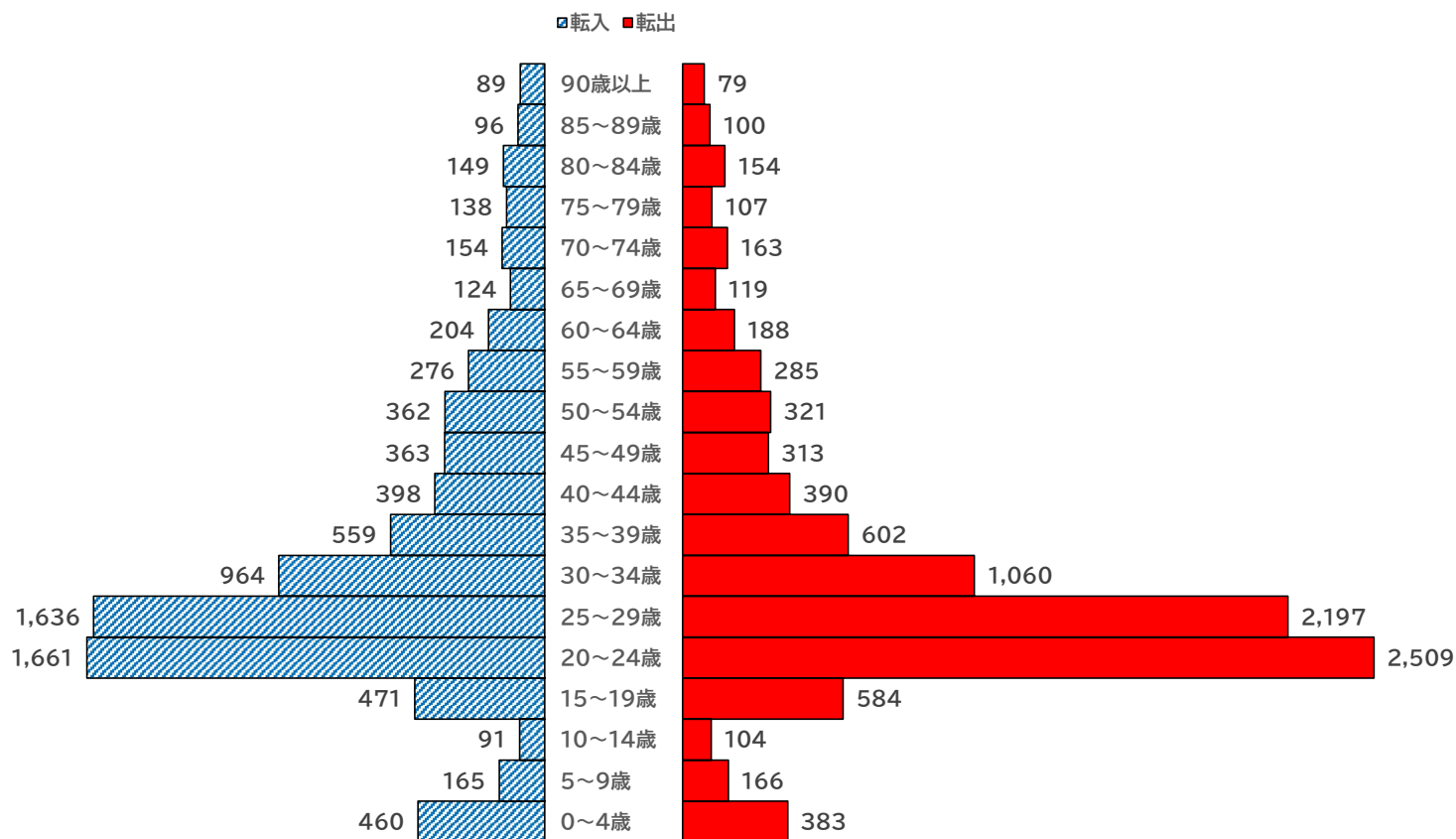


No.8-3

【転出入】年齢別転出入者数(2023年)(泉南地域3市1町)〈国外分除く〉

出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告(2023年)」※

※2023年までの、「住民基本台帳人口移動報告」は、国外からの転入者数及び国外への転出者数を含まない。

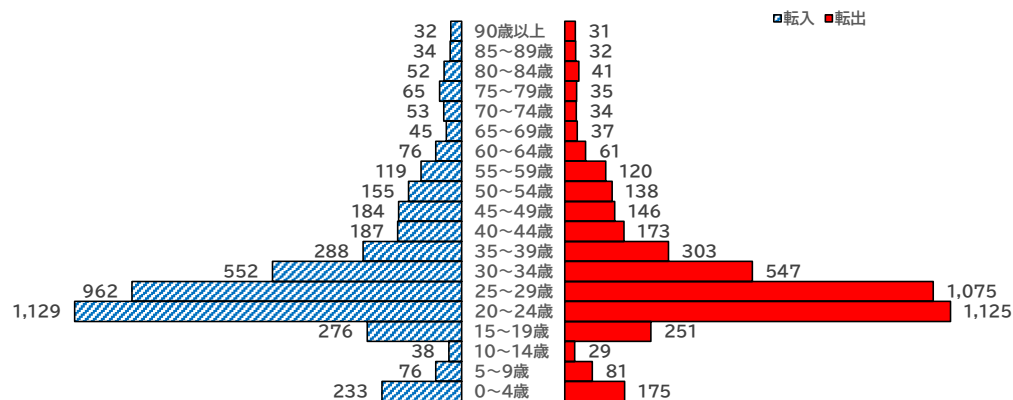


No.8-3

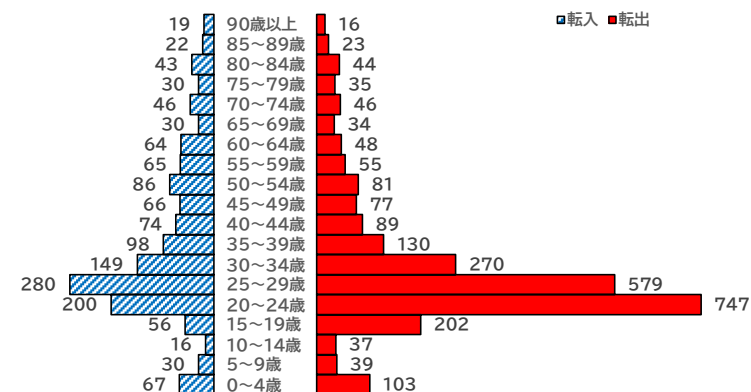
【転出入】年齢別転出入者数(2023年)(各市町)〈国外分除く〉

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告(2023年)」※
※2023年までの、「住民基本台帳人口移動報告」は、国外からの転入者数及び国外への転出者数を含まない。

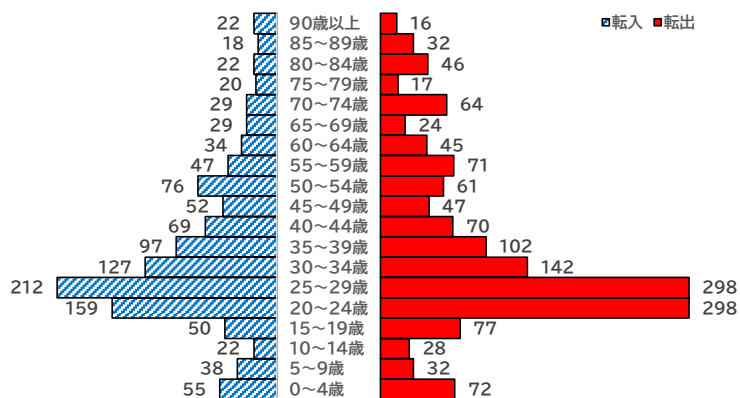
泉佐野市



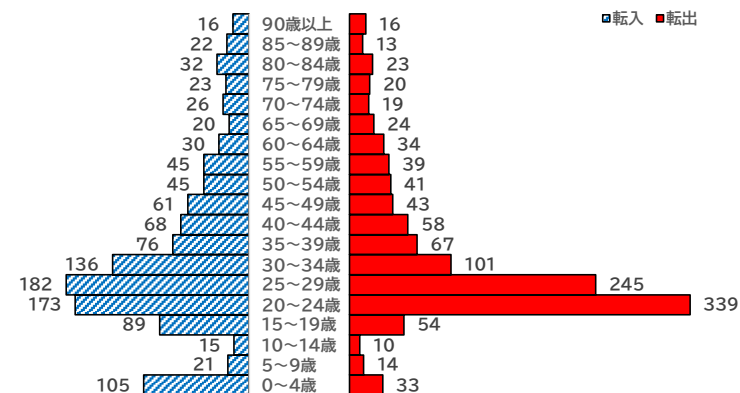
泉南市



阪南市



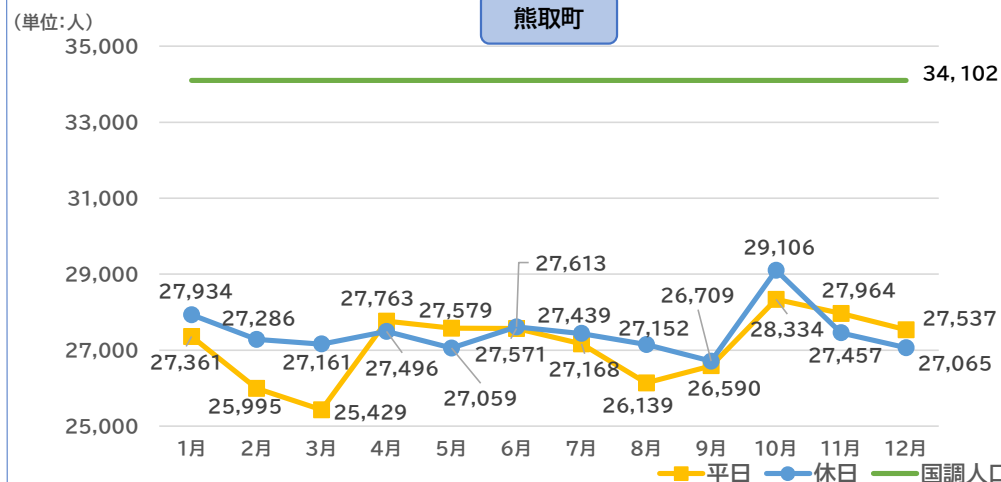
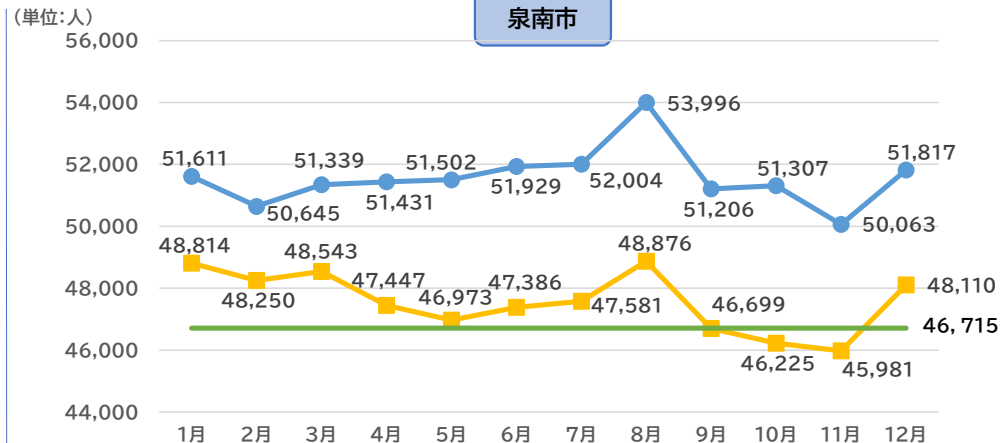
熊取町



No.9-1

【滞在人口】月別滞在人口(2019年)(各市町)

出典:株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」、総務省「国勢調査」



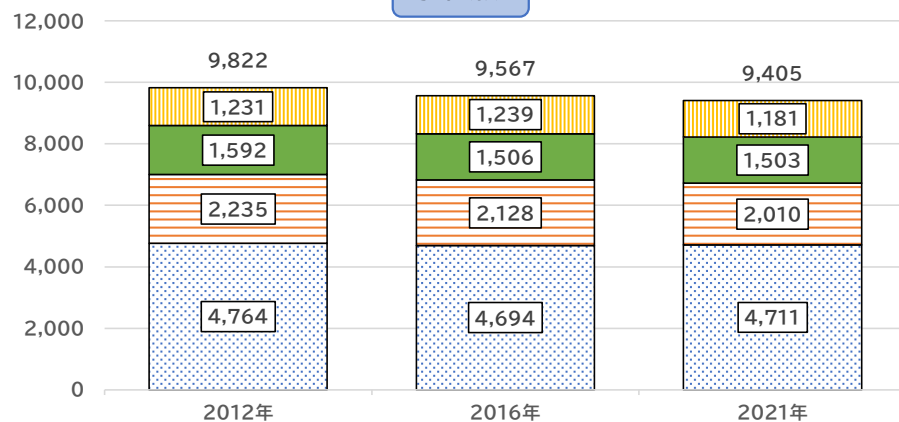
No.10-1

【産業】事業所数、企業数、農漁業者数、飲食店数の推移

出典：経済センサス活動調査（農漁業者数については、国勢調査と農林業センサスを基に農林水産省が作成した公表資料）

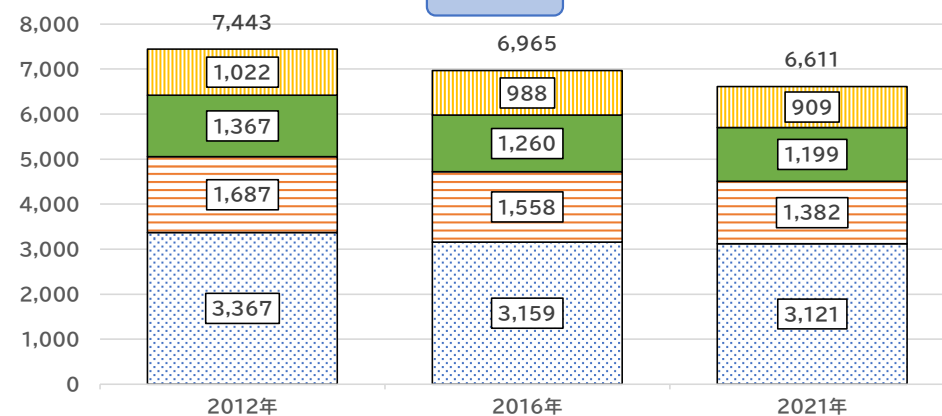
（単位：事業所数）

事業所数



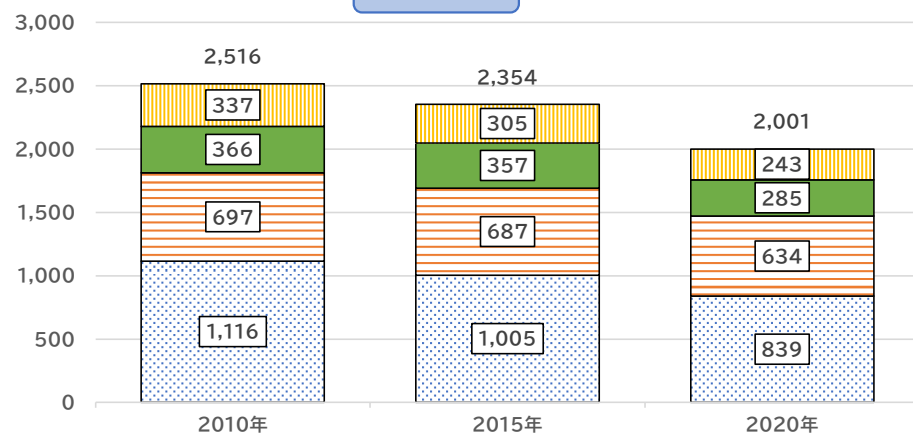
（単位：企業数）

企業数



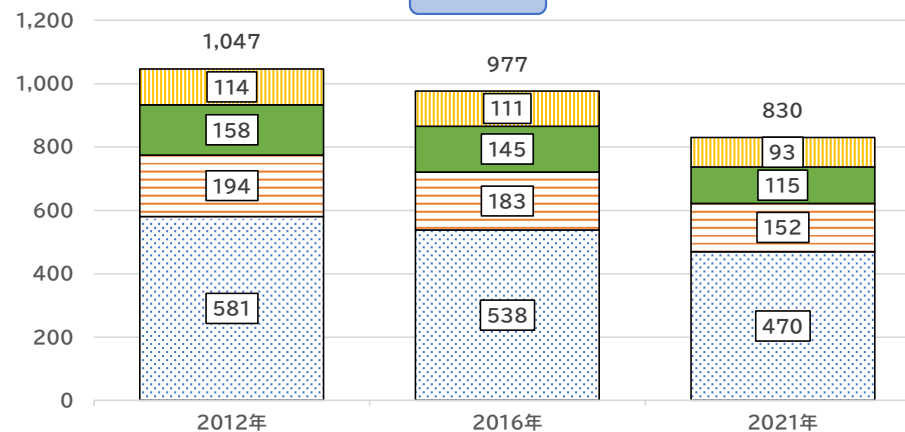
（単位：人）

農漁業者数



（単位：店舗数）

飲食店数



□ 泉佐野市 □ 泉南市 ■ 阪南市 ■ 熊取町

泉南地域3市1町「地域の未来予測」まとめ

分野	No.	指標	推計結果の概要
人口	1-1	将来推計人口	総人口は2020年から2050年にかけて71,290人減少する(▲27.9%)見込み。
	1-2	人口ピラミッド変化	年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)が減少し、団塊ジュニア世代(1971～1974年生まれ)が75歳以上となり、高齢人口が増加する。
	1-3	高齢化率・後期高齢化率	総人口の減少と高齢者数の増加により、2020年から2050年にかけて高齢化率は13.0ポイント、後期高齢化率は12.8ポイント上昇する。
	1-4	地域別人口密度	2020年から2050年にかけて、泉南地域3市1町の広範囲において人口密度が低下する。
	1-5	未就学児・小中学校児童・生徒数	未就学児数は5,027人の減少(▲47.9%)、小学校児童数は5,966人の減少(▲47.4%)、中学校生徒数は3,452人の減少(▲47.7%)が見込まれる。
施設・インフラ	2-1	公共施設の基本情報(保育所、幼稚園、認定こども園)	2050年には、多くの施設が築70年以上に達し、老朽化が深刻な課題となる。
	2-2	公共施設の基本情報(小・中学校)	2050年には、多くの施設が築70年以上に達し、老朽化が深刻な課題となる。
	2-3	公共施設の基本情報(小・中学校プール)	2050年には、熊取町の施設が築60年以上に達し、老朽化が進む。
	2-4	公共施設の基本情報(体育館、公営プール)	2050年には、多くの施設が築50年以上に達し、老朽化が進む。
	2-5	公共施設の基本情報(文化ホール)	2050年には、多くの施設が築約50年以上に達し、老朽化が進む。
	2-6	公共施設の基本情報(図書施設)	2050年には、全ての施設が築50年以上に達し、老朽化が進む。

泉南地域3市1町「地域の未来予測」まとめ

分野	No.	指標	推計結果の概要
	2-7	公共施設の基本情報(子育て支援施設)	2050年には、多くの施設が築約50年以上に達し、老朽化が進む。
	2-8	公共施設の基本情報(庁舎)	2050年には、全ての施設が築約70年以上に達し、老朽化が進む。
	2-9	公共施設の基本情報(雨水ポンプ施設)	2050年には、多くの施設が築約50年以上に達し、老朽化が進む。
	2-10	公共施設の基本情報(下水道整備状況)	—
行政	3-1	行政職員数比較	人口減少に比例し、行政職員数は減少が見込まれる。
	3-2	職員の年齢構成割合	—
医療・福祉	4-1	医療・介護需要	医療需要は高齢者人口の増加により2025年まで拡大。泉佐野市を除く2市1町では、人口減少により2025年以降の医療需要は減少する。 介護需要は高齢者人口の増加により2050年まで拡大。人口減少により推計期間半ば(2035～2045年)の介護需要は減少するが、高齢化率が上昇していくため、緩慢な減少に留まる。
	4-2	認知症有病者数	認知症有病者数は、2035年頃まで増加し、その後高止まりとなる。
防災・消防	5-1	避難行動要支援者数	避難行動要支援者数は、2040年をピークに、減少に転じる。
	5-2	救急搬送人員数	救急搬送人員数は、2025年をピークに、緩やかな減少に転じるが、高齢化率の上昇により、緩慢な減少に留まる。

泉南地域3市1町「地域の未来予測」まとめ

分野	No.	指標	推計結果の概要
衛生	6-1	ごみ発生量	人口減少等により、2050年にかけて27,899トン(約27.6%)減少する見込み。
	6-2	有収水量	人口減少等により、2050年にかけて7,875千㎡(約27.5%)減少する見込み。
公共交通	7-1	路線バス	路線沿線の人口減少等により、路線バスの減便・再編・廃止が生じる可能性が高くなる。
転出入	8-1	自治体間の人口移動(2023年)	—
	8-2	過去5年間の転出入者数	—
	8-3	年齢別転出入者数(2023年)	—
滞在人口	9-1	月別滞在人口(2019年)	—
産業	10-1	事業所数、企業数、農漁業者数、飲食店数の推移	—